

第五十六回帝國議會
衆議院

朝鮮簡易生命保險特別會計法案外三件委員會會議錄(速記)第六回

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)
健康保險特別會計法中改正法律案(政府提出)
健康保險法中改正法律案(政府提出)

會議

昭和四年三月二日(土曜日)午前十時四十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 佐々木長治君

理事 小谷 節夫君

久恒 貞雄君 大里廣次郎君

中井 一夫君 坂東幸太郎君

堤 康次郎君 淺原 健三君

同日委員石坂豐一君辭任ニ付其ノ補闕

トシテ久恒貞雄君ヲ議長ニ於テ選定セ

リ

出席政府委員左ノ如シ

社會局長官 長岡隆一郎君

大藏書記官 川越 丈雄君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

健康保險特別會計法中改正法律案

(政府提出)

健康保險法中改正法律案(政府提出)

○佐々木委員長 ソレデハ只今ヨリ開

會致シマス、健康保險特別會計法中改

正法律案並健康保險法中改正法律案ヲ

一括シテ議題トシテ、質疑ニ移ルコト

ニ致シマス、先ヅ健康保險法中改正法

律案ノ政府ノ御説明ヲ伺ヒタイト思ヒ

マス

○長岡政府委員 健康保險法中改正法

律案ノ提案ノ理由ニ付キマシテハ、過

日本會議ノ席ニ於キマシテ秋田政務次

官ヨリ其大略ヲ申上ゲテゴザイマスル

ガ、御承知ノ通り健康保險事業ハ昭和

二年一月一日ヨリ實施セラレタノデゴ

ザイマスルガ、何分初メテノ試デアリ

マスル爲ニ、豫期セザル各種ノ障礙ガ
起リマシテ、一時ハ其前途ニ暗翳ヲ投
ズルヤウナ所マデ參リマシタガ、幸ニ
シテ漸次其狀況ガ改善サレテ參リマシ
テ、今日ニ於キマシテハ、未ダ十分トハ
勿論申セマセヌケレドモ、稍、前途ニ曙
光ヲ認メルヤウナ狀況ニナツテ參リマ
シタ次第デアリマス、政府ニ於キマシ
テハ此事業ガ少額所得勤勞者ハ固ヨリ、
產業界ニ對シマシテモ密接ナル關係ガ
アルコトニ鑑ミマシテ、其施行ニ當リ
マシテハ、常ニ深甚ノ注意ヲ拂ッテ居リ
マシタ次第デアリマス、併ナガラ實施
以來ノ經驗ヲ重ネマスルニ從ヒマシテ、
諸般ノ事務手續、保險料ノ徵收方法、保
險給付ノ内容等ニ關シマシテ尙ホ多少
改善ヲ加ヘマシテ、本事業ノ施行ヲ圓
滑ニ致シ、事務ノ簡捷ヲ圖ル必要アリ
ト認メマシタガ、茲ニ健康保險法中改
正ヲ要スル部分ニ付キマシテ、本改正
案ノ提出ヲ致シタノデアリマス、先程
申上ゲマシタヤウニ、本法ノ施行ニ付
キマシテハ、未ダ幾多ノ困難ヲ伴ッテ居
リマスルガ故ニ、施行後相當ノ經驗ヲ

經マシタ後ニ、或ハ本法ノ根本ニ觸レル
ヤウナ改正ヲ致サナケレバナラヌ時期
ガ、兩三年ノ間ニ參ルノデハナイカト
云フコトモ考ヘラレルノデアリマスル
レドモ、未ダ僅ニ昭和二年ヨリ實施致
シマシタ短イ間ノ經驗ニ依リマシテ、
法ノ根本ニ觸レルガ如キ改正ヲ致シマ
スニハ未ダ經驗ガ乏シイ、イマ少シク
實際ノ事情ヲ考察致シマシテ、或ル時
期ニ於テ根本的ノ改正ヲ加フル必要ガ
起ルカト存ジマスルケレドモ、今回提
出致シマシタノハ根本問題ニ觸レザル、
謂ハハ事務的ノ改正デゴザイマシテ、
施行ノ實績ニ鑑ミマシテ健康保險組合
ノ構成者デアリマスルトカ、醫療ノ給
付及傷病手當金ノ支給ノ日數デアルト
カ、埋葬料額デアリマスルトカ、著シキ
不行跡ノ場合ニ於ケル手當金ノ支給拒
絶、或ハ保險料ノ強制徵收方法ト云フ
ヤウナ、謂ハハ事務的ノ問題ニ付キマ
シテ差當リ必要ナ改善ヲ加ヘマシテ、
以テ今後ノ健康保險法ノ圓滿ナル發達
ヲ圖リタイ、斯ウ云フ趣旨ニ外ナラヌ
ノデゴザイマス、尙ホ各條ニ互リマシ
テハ、御質問ニ應ジマシテ御答申上ゲ
ルコトニ致シタイト思ヒマス

○佐々木委員長 次ニ健康保險特別會
計法中改正法律案ノ政府ノ説明ヲ求メ
マス

○川越政府委員 政府ノ管掌致シテ居
リマスル、健康保險事業ニ對スル一般
會計ノ繰入金ハ、大體ニ於テ其事務費
ニ充當スルト云フ趣旨ヲ以チマシテ、
被保險者一人當リ一年平均二圓以內ニ
於テ、保險給付ニ要スル費用ノ十分ノ
一ダケヲ繰入レル規定ニナツテ居リマ
ス、然ル處健康保險事業實施後ノ經驗
ニ徴シテ見マスルト云フト、其繰入金
算定ノ基礎ヲ保險給付費ニ置イテ居リ
マス爲ニ、被保險者及標準報酬ノ増減
等ニ依リマシテ、事務費ノ増減ヲ來ス
ト云フコトニナリ、其事務ノ圓滑ヲ妨
ゲマスヤウナコトニナリマスノデ、今
回之ヲ改正致シマシテ、一般會計カラ
繰入ル、所ノ金額ハ、被保險者一人當
リ一年平均二圓以內ト云フコトニシマ
シテ、毎年豫算ノ定ムル所ニ依テ繰入
レルト云フコトニシテ、十分一ト云フ
コトヲ削除シヤウト云フコトニ致シタ
ノデアリマス、何卒御協賛アランコト
ヲ望ミマス

○佐々木委員長 ソレデハ質問ニ移ル
コトニ致シマス

○淺原委員 今日ノ勞働者ニ取リマシ
テハ、幾多ノ社會立法、勞働立法中此健
康保險法ハ、最も日常生活ニ直近スル
所ノ當面ノ重大ナ問題デアリマス、此
健康保險法ノ改正ト云フ問題ニ對シテ

ハ、日本ノ労働者ヲ擧ゲテ、非常ニ注目ノ的トスル所デアリマスガ、現内閣ハ

モウ少シ明瞭ニ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

テ、是ハ極ク率直ニ申上ゲマスルガ、労働者諸君ノ方ニ於テモ一部ノ方ニハ本法ニ對スル理解ガ乏シカッタノデハナ

デ、隨ヒマシテ此重大ナル社會保險ノ第一歩デアアル健康保險ト云フ法制ニ對シマシテ、根本的ノ改正ヲ加ヘルト云

力ニ對シテハ其數甚ダ少イト思フノデアリマス、切メテ此健康保險法ノ根本的ノ改正ガ行ハレマスルナラバ、ソレヲ幾分償ヒ得ルト思フノデアリマス、

○長岡政府委員 只今ノ淺原君ノ御質問ニ付キマシテハ、御質問ノ趣旨トシテ御述ベニナリマシタ事ガ、即チ私ノ御答申上ゲント欲スル所ノ内容ト略、

ス、即チドウセ保険料ヲ納メルナラバ、病氣ニ罹ラヌデモ保険料ヲ取ラレルノデアルカラ、先ヅ醫者ニ掛ツタ方ガ得デ

アルト云フヤウナコトカラ——輕イ病氣ノ者ガ早期ニ診斷ヲ受ケルト云フコトハ是ハ歡迎スベキ事デアリマスケレドモ、或ル場合ニハ假病ノ者ガ醫者ニ掛

今政府委員ノ御説明ニ依レバ、今回ノ健康保險法中改正法律案ハ根本問題ニ觸レタノデハナイ、主トシテ事務上ノ問題ノミヲ改正スルコトニ主點ヲ置イ

タノデアルト云フ御説明デアッタノデアリマス、根本問題ニ觸レルニハ未ダ健康保險法實施後、其時間ガ短イ爲ニ、

リ、サウシテ手當ヲ其間取ルト云フヤウナ弊害モ一部ニハアリマシタシ、又保險醫即チ醫師ノ方面ニ於キマシテ

○淺原委員 今ノ御答辯ノ中ノ一節ニアリマシタ健康保險法ガ實施セラレテ一年間グラキハ甚ダ混亂狀態ニ陥ツテ、

今日ノ經驗ヲ以テシテハ根本的改正ヲ行フノ時期ニアラズト思フト云フ御説明デアッタノデアリマス、私ハ保險法實

施以來二三年ノ歲月ヲ閱シテ居ル今日マデノ狀況ニ照シテ、是ガ根本的改正ヲ爲スヤ否ヤト云フ問題ハ、大凡見透シノ付ケラレ得ベキ情勢ニナツテ居ル

モ、隨分不正ナル手段ヲ執リマシテ、政府ヨリ支給致シマスル所ノ療病ノ給付ノ金ヲ食ルト云フヤウナ者ガ現レ、爲

爲ニ將來ニ暗影ヲ投ジタルカノ如キ觀ガアツタガ、併シ今日漸ク幾分ノ曙光ヲ認メ得ルヤウニナツタ事ヲ喜ブ、唯一年

ト思フノデアリマス、然ルニ政府委員ノ御答辯ハ未ダ根本的改正ノ時期ニ到達シテ居ナイ、將來是ガ改正ヲ爲ス必要ガ起リ來ルカ否カハ別箇ノ問題トシ

テ、先ヅ當面ノ事務上ノ問題ヲ主トシテ、此改正法律案ヲ提出シタ所以デアルト云フ御説明デアリマスルガ、今日

ニ生レテ來ルカ來ナイカト云フ重大ナル鍵トモ謂フベモキノト考ヘルノデゴザイマス、施行ノ當初ニ當リマシテハ、

シテ、醫師及労働者ノミガ引例セラレタノデアリマス、私ハ責任ノアル社會局ノ長官ノ御言葉デアリマスガ故ニ、

ニ依テ言現ハサレタノデアリマスルガ、隨分豫期セザル混亂狀態ガ起キマシ

テ、是ハ極ク率直ニ申上ゲマスルガ、労働者諸君ノ方ニ於テモ一部ノ方ニハ本法ニ對スル理解ガ乏シカッタノデハナ

カト云フ非常ナ心配ニ捉ハレテ居ツタノデアリマス、此爲ニ色々ナ施設モ致シ、又宣傳モ致シ、色々苦心ニ苦心ヲ重

ネテ、今日稍々平靜ニ近イヤウナ狀況ニナリマシテ、先程申上ゲマシタヤウニ前途ニ稍々曙光ヲ認メ得ルト云フ位ノ

根本的改正ヲ爲スノ時期ニアラズト仰セラレル所ノ具體的ナ其論理的根據ハ、單ナル經驗ト云フ抽象的文字ノミ

ニ依テ言現ハサレタノデアリマスルガ、隨分豫期セザル混亂狀態ガ起キマシ

テ、是ハ極ク率直ニ申上ゲマスルガ、労働者諸君ノ方ニ於テモ一部ノ方ニハ本法ニ對スル理解ガ乏シカッタノデハナ

所ニ立至リマシタノデアリマス、未ダ僅カニ二箇年ノ經驗シカナイノミナラズ、其二箇年ノ中デモ初メノ一年以上

ハ、單ナル經驗ト云フ抽象的文字ノミニ依テ言現ハサレタノデアリマスルガ、

隨分豫期セザル混亂狀態ガ起キマシ

ト云フモノハ、殆ド混亂狀態ニ在ツタト申シテモ宜イ位ナ狀況デアリマシタノ

タノデアリマス、一ツハ此健康保險法

ノ根本精神ニ對スル無產階級的ナ——
用語ヲ使ッテ申譯アリマセヌガ、無產階級的ナ立場カラスル所ノ不滿、積極的ナ不平、ソレガ政府當局カラ見ルナラバ一ツノ無理解ト見得ルト思フノデアリマス、モウ一ツハ健康保險法其モノ、精神ヲ辨ヘザル所ノ無智カラ來ル所ノ無理解、ソレガ一ツダト思フノデアリマス、是モ亦政府當局カラ見マスレバ勞働者ノ無理解ト言ヒ得ルノデアリマス、今長官ノ御説明ハ後者ニ屬スルコト明瞭デアリマスガ御言葉ノ一節ニアリマシタヤウニ、其無理解ノ現ハレトシテハ、輕微ナ病氣デモ健康保險法ガ實施サレタガ故ニ醫者ニ掛ラナケレバ損ダ、金ハマア出シテ居ルノダカラト云フヤウナ事ノ爲ニ、非常ニ困難ヲ來シタト云フ御言葉デアリマスガ、是ハ健康保險法ヲ實施ナサル初メニ當ッテ、當然豫想セラルベキ必然ノ結果デアリマス、何故ナラバ勞働者ハ今日マデ幾多ノ病ニ罹ッテモ、ソレガ起ツ能ハザル——臥床ノ程度ニ至ル程重態デナイ輕微ナ病ノ時ニハ、所謂生活難ノ結果之ヲ意識的ニ拋擲シ、或ハ生活ノ甚シキ不規則ナル習慣ノ爲ニ、無意識的ニ輕微ナル病ノ如キハ醫師ニ掛ラズシテ拋擲スルト云フヤウナ事ガ、勞働者ノ今日迄ノ社會環境、或ハ今日ニ於ケル生活狀態トシテ當然ノ結果デアリマス、然ルニ健康保險法ガ布カレタ爲ニ、自分モ其中ニ若干ノ金ヲ出シテ居ルト

云フ事ノ爲ニ、輕微ナ病デアッテモ醫師ニ掛ッテ行クト云フコトハ、今迄ハ拋擲シテ居ツタケレドモ、金ヲ幾ラカデモ出シタノデアアルガ故ニ、輕微ナル病デモ早ク醫師ニ掛ッテ、ソレニ依テ將來ノ重病タルコトヲ豫防シヤウトスル所ノ人間ノ爲スベキ必然ノ結論デアリマス、是ハ健康保險法實施ノ當時カラ豫想サレテ居ツタノデアアルシ、又豫想シ得ベキ問題デアリマシテ、ソレガ健康保險法實施以來勞働者ノ無智ニ依テ、健康保險ヲ混亂ナラシメタト云フ御考ヘ方ハ初メニ豫想スベキ事ヲ豫想シ得ザル所ノ政府當局者ソレ自身ノ無智ノ結果デアッテ、私ハ是ハ勞働者トシテ健康保險法實施以來必然ノ結果デアルト思フノデアリマス、故ニ獨リ勞働者ノ無智ノミニ其責任ヲ嫁スベキ事デハナクシテ斯ノ如キ豫想ヲ爲シ得ル問題ヲ豫想セズシテ、健康保險法ヲ街頭ニ投出シタ方ニ却テ御考慮ヲ煩スベキ事ト思フノデアリマス、モウ一應將來勞働者ノ名譽ト責任ニ關スル問題デアリマスガ故ニ、社會局長官ノ御答辯ヲ煩シタイト思フノデアリマス

○長岡政府委員 私ハ只今ノヤウナ誤解ガアリハセスカト思ヒマシテ、先程餘程用語ヲ慎ンデ申上ゲタ積リデゴザイマシタガ、私ノ申シ方ガ甚ダ足リナカッタ爲ニ、淺原君ノ誤解ヲ惹起シタコトヲ甚ダ遺憾ニ存ジマス、先程私が申上ゲマシタノハ勞働者ノ無理解ト云フコトヲ申シタナラバ色々誤解ヲ惹起スト思ヒマシタカラ、勞働者ノ一部、醫師ノ一部ト云フコトヲ特ニ附加ヘテ申上ゲタ積リデアリマス、全部ノ勞働者ガ無理解ダト云フヤウナコトヲ決シテ申上ゲタノデハアリマセヌ、一部ノ勞働者、若クハ一部ノ醫師ニ無理解ナ者ガアッタト云フコトヲ申上ゲタ、是ハ唯例トシテ申上ゲタノデアリマス、單リ勞働者醫師ノミデハナイ、他ニモ色々ノ勞働者、一部ノ醫師ニ誤解ガアッタト云フコトヲ申上ゲタノデ、其點ハ再ビ誤解ノナイヤウニ御願ヒ致シマス、ソレカラ其次ニ早期ノ診斷ヲ受ケルト云フコトノ爲ニ、當局ガ困ツタト云フヤウニ御聽取デゴザイマシタガ、是モ先程申上ゲマシタノハ、私ハ早期ノ治療ヲスルト云フコトハ宜イコトデアアル、豫想セザル程患者ガ殖エタケレドモ、早期ノ診斷ヲ求メルト云フコトハ宜イコトデアルト云フコトヲ先程申上ゲタ積リデアリマス、ソレハ病氣ト云フモノハ遅ク醫者ニ掛ルト云フト金モ掛ル、又非常ニ長イ日數モ掛ル、成ベク病氣ト云フモノヤ、怪我ト云フモノハ、早く醫師ノ治療ヲ受ケルト云フト金モ安ク濟ミ、本人モ苦痛ガ少クテ濟ムシ、日數モ少クテ濟ム、早期ノ診斷ヲ受ケルト云フコトハ歡迎スベキコトデアアル、私ハ早期ノ患者ガ出來タト云フコトハ宜イコトデアルト先程特ニ御斷リシタ積

リデアッタノデアリマス、唯私ノ申上ゲマシタノハ一部ノ勞働者ニ虛偽ノ疾病ヲ以テ醫師ト共謀シテ、診斷書ヲ貰ヒ、缺勤届ヲ出シテ家ニ遊ンデ居ッテ、サウシテ手當金ヲ日額ノ百分ノ六十ヲ貰フ者ガ一部ニアッタ、又其他ニ色々ナ無理ナコトヲ言ッテ私共ヲ困ラシタ者モアル、ソレハ一部ノ者デアアル、一部ト云フコトヲ特ニ申上ゲタノミナラズ、早期ノ診斷ヲ受ケルト云フコトハ極メテ宜イコトデアアル、病氣ニ罹ッタ時ハ被保險者デアラウガ、保險者デアラウガ、早イ中ニ醫師ニ掛ルト云フコトハ歡迎スベキコトデアアル、是ハ繰返シテ申上ゲル必要モナイ程、自明ノ理デアルト思ヒマス

○淺原委員 能ク分リマシタ、本法ノ内容ニ付テ御尋ネ致シマスガ、第十三條ノ末尾デアリマス「報酬千二百圓ヲ超ユル職員ハ此限ニ在ラス」、千二百圓ガ限度ニナツタノデアリマス、十三條ハ改正ニナツテ居ルニモ拘ラズ、千二百圓ノ限度ハ改正サレテ居ラナイヤウデアリマスガ、是ハモウ少シ高率ニ爲サル必要ハ生ジテ居リマセヌカ

○長岡政府委員 此千二百圓ト云フコトハ立法當初ノ理由ハ、大體月ニ百圓位ノ收入ノアル者以下ノ者ヲ被保險者トスルト云フコトガ、適當デアルト云フ趣旨カラ出タモノデアリマシテ、此千二百圓ト云フコトニ數學的ノ動カスベカラザル基礎ガアッタモノトハ考ヘ

昭和四年三月二日

テ居リマセヌ、要スルニ眼ノ著ケ所ヲ何處ニスルカ、月收入百圓トスルト云フコトニ標準ヲ置イタルデアッテ、九十九圓デハ然ラズ、百一圓デモ然ラズ、斯ウ云フ風ニ數學的ノ基礎ガアッタモノトハ考ヘマセヌガ、是ハ申上ゲルマデモナク、筋肉労働者デアリマヌナラバ、千二百圓以上ノ者デアッテモ、千三百圓以上ノ收入ノアル者デアッテモ、強制被保險者ニナルノデアアル、是ハ淺原君モ御承知ノ通り筋肉労働者以外ノ職員デアアル、即チ事務員級ノ者デアアル、其言葉ガ適當デアアルカドウカハ存ジマセヌガ、世間デ謂フ精神労働者ト申シマスカ、筋肉労働者以外ノ者デアアル、ソレデ之ニ付キマシテハ今回ノ改正ノ時ニハ寧ロ淺原君ノ只今御質疑ニナリマシタコト、反對ノ運動ガ相當アッタノデゴザイマス、ト云フノハ千二百圓以下ノ事務員デアアルト云フト、實際ニ於テ月給取デアアル、月給取ハ吾々モ同ジデアアルマスガ、缺勤ヲシテモ矢張月給ハ貰フ者ガ多イノデアリマス、長期ニ互ルト云フト、例ヘバ吾々ニシマス三箇月間役所ヲ休ミマスト月給ハ減ッテ参リマスガ、三箇月以内ハ休ンデ居ッテモ病氣ナラバ月給ハ貰ヘル、工場鑛山等ハ、役所トハ事情ガ異ナリマスガ、期間ト金額トハマチ／＼ニナッテ居リマスガ、兎モ角一週間ヤ二週間休ンデモ俸給ヲ貰フ所ガ相當アル、サウシマスト此俸給衣食者ガ健康保險ニ入ッテ、強

制シテ保險料ヲ取ラレマスト、醫者ニハ只デ掛カレルガ報酬日額ノ百分ノ六十、即チ六割ノ手當金ヲ受ケルト云フコトノ恩典ガ有耶無耶ニナル、即チ貰フトスレバ會社鑛山等ノ都合デ今マデ缺勤シテ居ッテモ月給ヲ貰フト云フ習慣ガ打破ラレルカラ、此恩典ガ有耶無耶ニナル、即チ一概ニ申セバ、是カラ脱退サシテ欲シイ、自分等ハ筋肉労働者ト一様ニ此保險ノ中ニ加入サレルト云フコトハ不利益デアルカラ、自分共ハ除外シテ吳レト云フ運動モ相當アッタノデアリマス、慥カ労働保險調查會デハ、サウ云フコトガ大分論議サレタヤウニ記憶致シテ居リマス、而モ餘程根本ニ觸レル問題デアリマスシ、之ニ對シテハ千二百圓ト云フコトヲ増額シテ欲シイト云フ淺原君ト同ジヤウナ御意見ノ方キモアリ、又筋肉労働者ノ範圍カラ除外テ貰ッテ、健康保險法カラ除外シテ貰ヒタイト云フ運動モアリ、彼此レ色ミナ議論ガ錯綜致シマシタ爲ニ、今回ハ斯ノ如キコトハ法ノ根本ニ觸レル問題ト考ヘマシテ、今少シ成行ヲ見タ上デ政府ノ態度ヲ決定シヤウ、左様ナ譯デ今回ハ斯様ニ致シテ置イタ次第デアリマヌ

○淺原委員 此第二十條ノ改正ノ理由ハドウ云フ譯デスカ
○長岡政府委員 二十條ノ改正ハ是モ甚ダ事務的ナ問題デゴザイマスガ、從來ハ「喪失ノ日前一年ニ於テ百八十日以上被保險者タリシモノ」ト云フノニ該當スル事項ガ甚ダ少ナカッタノデアリマス、尙ホ詳シク申上ゲマスト、現行法ニ於キマシテハ被保險者ノ資格喪失後所謂任意繼續被保險者タリ得ル者ハ、被保險者ノ資格喪失ノ日前一年ニ於テ百八十日以上被保險者タリシモノ、或ハ喪失ノ際引續キ六十日以上被保險者タリシモノニ限ッテ居リマシタ、然ルニ實際ニ徵シマスト、任意繼續被保險者ハ極メテ少數デアリマシテ、就中被保險者資格喪失ノ日前一年ニ於テ百八十日以上被保險者タリシ故ヲ以テ任意繼續被保險者トナッタト云フ、此該當事柄ガ殆ドゴザイマセヌ、一面ニ於テ被保險者ガ屢々所屬保險署ヲ變ヘタ場合、即チ甲ノ鑛山カラ乙ノ鑛山ニ至リ更ニ丙ノ鑛山ニ至ルト云フ場合ニ、任意繼續加入ノ申請ヲ受ケタ保險署ニ於キマシテ、該被保險者ガ資格喪失ノ日前一年以内ニ於テ百八十日以上被保險者タリシヤ否ヤヲ調査スルコトハ極メテ困難デアリマシテ、而モ正確ヲ期スルコトハ不可能ナル狀態ニ在ルトデアリマス、ソレ故ニ斯ル有名無實ノ條件ヲ削リマシテ、單ニ被保險者ノ資格喪失ノ際引續キ六十日以上被保險者タリシコトヲ要スル、斯様ニ致シタ次第デアリマス

○淺原委員 改正前ノ所謂現行法ノ意味ガ有名無實デアッタ致シマスレバ、固ヨリ別箇ノ問題デアリマスガ、今日ノヤウナ失業狀態ノ甚シイ時代ニハ、斯ノ如ク連續ニ非ズシテ、ソレガ斷絶シテ居ッテモ、ソレヲ加算シテ百八十日以上被保險者タリシモノニ、此保險法ノ恩典ヲ浴スルヤウニシテ置ク方ガ本當ノヤウニ思ヒマスガ、如何デアリマスカ
○長岡政府委員 之ニ對シマシテ實際的ニ何等カ利害ガゴザイマスレバ、只今ノ淺原君ノ御意見モ或ハ御尤ト思ヒマスガ、只今申上ゲマシタヤウニ該當事項カナイ、謂ハハ畫ニ描イタ餅ノヤウナモノデアリマス、殊ニ鑛山工場等ヲ轉々致シマシタ者ハ、今マデハ元ノ健康保險組合ノ任意繼續被保險者デアッタ、所ガ或ル鑛山、工場ヲ解雇サレ、若クハ進ンデ罷メタ者ガ國ニ歸リマシタ場合ニ、元ノ健康保險組合所屬ノ任意繼續被保險者タルコトハ、本人ニ取ッテモ隨分煩シイモノデアアル、又所屬健康保險組合ニ致シマシテモ、地域のニ非常ニ遠隔ナ者ニ對シマシテ、醫療給付ヲ與ヘルト云フコトハ、是モ手續上隨分ヤ、コシイ問題デアアル、故ニ是等ニ對シマシテハ政府ガ後ノ尻拭ヒヲスル、健康保險組合カラ脱退シマシタ者デモ、政府管掌ノ任意繼續被保險者トシテ政府ガ面倒ヲ見ル、斯ウ云フヤウニヤリマシテ實際上ノ困難ヲ救フ、詰リ何故ソレヲ例ニ申シマシタカト云フト、唯描イタ餅ヲ看板ニ掛ケテ置イテ、ソレヲドウスウヤルヨリモ、實際ニ即

シテ便利ナ改正ヲシタ方が適切デアラウ、斯ウ云フ趣旨カラシテ之ヲ除キマシタ次第デ、謂ハハ何等之ニ付テ該當事項ガナカッタ、斯ウ云フ趣旨デゴザイマス

○淺原委員 サウ云フ實情ノ下ニアリマスレバ差支ナイノデゴザイマスガ、同ジク第六十一條中ニ「鬭爭若ハ泥酔」ヲ「鬭爭泥酔若ハ著シキ不行跡」ニ改ムノ「著シキ不行跡」ト云フ意味、及此一項ヲ御加ヘニナリマシタ理由ヲ承リタイト思ヒマス

○長岡政府委員 此「著シキ不行跡」ト云フ改正モ、實ハ一部ノ労働者側ニ斯ウ云フ聲モアリマシタ、詰リ是ハ主トシテ花柳病ノ場合ヲ言ッテ居ルノデアリマスガ、花柳病ダカラ診テヤラヌト云フコトハ是ハ宜シクナイ、現實ニ困ッテ居ル者ヲ診テヤルノデアリマスカラ、原因ノ如何ニ拘ラズ病氣ヲ治シテヤルト云フコトガ至當デアアル、況ヤ花柳病ト云フモノハ本人ガ不行跡ヲシナイデモ、床屋デ移ルコトモアルシ、風呂場デ移ルコトモアルノデ、花柳病ニ罹ッタカラト言ウテ、其者ガ不行跡ヲシタト云フコトノ原因ヲ推定スルコトモ出来ヌト思ヒマス、併ナガラ度々本人ノ不行跡ノ爲ニ花柳病ニ罹ッテ、屢々醫者ノ厄介ニナル、殊ニ此俗ニ謂フ六百六號デアリマス、此注射ノ如キハ随分醫者ハ高い金ヲ取ルノデアリマス、所ガ同ジ工場鑛山ニ勤務シテ居ル他ノ労働

者カラ言ハスレバ、自分等ハ品行ガ良イ爲ニ一向厄介ニナラヌ、吾々ハ掛金ヲ取ラレルダケデアッテ、一向他ノ不行跡ナ、屢々花柳ノ巷ニ行キ又ハ妙ナ所ニ出入シテ、或ハ微毒ニ罹リ或ハ其他ノ花柳病ニ罹ッタ者ガ、自分等ノ掛金デ以テ始終只デ治療シテ貰フガ、品行ノ良イ者ハ惡イ者ノ犠牲ニナルヤウナモノデアッテ、甚ダ不愉快デアルト云フヤウナ聲ガ一部ニアッタノデ、又考ヘテ見マスト、花柳病ニ罹ルト云フコトハ是ハ有リ勝チノコトデ、少シ言葉ガ極端デアリマスガ、是ハ治シテヤルト云フコトモ必要デアリマスルケレドモ、餘リ一年ニ數回、月ニ數回モ治ッテハ又罹リ、治ッテハ又罹ルト云フヤウナ者ヲ、何時マデモ只デ治シテヤルト云フコトデアルト、ドウモ面白カラザルコトガ起ル、此「著シキ不行跡」ト云フ「著シキ」ヲ加ヘ

マシタノハ單ニ不行跡——甚ダ言葉ガ穢クナッテ、議場デ申上ゲル用語トシテハ恐縮デアリマスガ、事柄ガ事柄デゴザイマスカラ御許ヲ願ヒタイ、單ニ遊廓ニ行ッタトカ淫賣窟ニ行ッタトカ云フコトデアルカラ、花柳病ヲ治サスト云フ趣旨デハナイ、著シキ不行跡ニ依ル、即チ性懲リモナク病氣ニ罹ッテヤッテ来ルト云フヤウナ者ハ、多少法デ威嚇ヲ與ヘテ置イタ方が宜カラウ、斯ウ云フ趣旨デアリマシテ、今ノ一部ノ品行ノ良イ労働者ノ聲ガ當局ヲ動カシタト云フ次第デハゴザイマセヌガ、著シキ不

行跡ト云フノハ能クノ場合ダケ之ヲ押ヘル積リデアリマシテ、著シキト云フコトヲ加ヘマシタ意味ハ、其所ニ在ルコト、御承知ヲ願ヒタイ

○淺原委員 ソレガ一部ノ労働者ノ要求デ(長岡政府委員「聲デ」ト呼フ)聲デアッタトスルナラバ、實ニ不届ナ聲デアルト思フノデアリマスガ、花柳病ハ申上ゲルマデモナク、殆ド全國民ノ大多數ガ日本デハ罹ッテ居ルヤウナ醫師ノ統計デアリマス、就中労働者ニハ今政府委員ノ御話ニアリマシタヤウニ多イノデアリマス、ソレガ不行跡ナ場所ニ頻繁ト出入ヲスル結果デアルカモ知レマセヌシ、又今御説明ノ床屋、風呂屋等ニ依レルモノデアルカモ知レマセヌ、或ハ古言ニアルヤウニ、日本ノ傳統病デアルカモ分リマセヌ、ガ併シ事實労働者ハ矢張不行跡ナ所ニ頻繁ト出入スルノデアリマス、ソレハ餘計ナコトデアリマスケレドモ、今日ノ労働者ノ生活狀態ノ下ニ於テハ、不行跡ト認メラレル所ニ行クヨリ以上ノ能力ヲ持タナイノデアリマシテ、所謂待合政治ノヤウナ相當費用ノ要ル所ニ行キ得ナイ生活狀態ニ在リマス、故ニ必然ニ花柳病ガ多クナルデアラウト思フ、今日健康保險法ニ掛ッテ居リマスノハ花柳病ガ大部分デアリマス、ソレヲ治療スルニ當ッテ所謂六〇六號ガ高イト云フ政府委員ノ御説明デアリマスガ、私ハ藥種商ヤッテ居リマスガ、六〇六號ノ原價ハ餘リ

高クナイノデアリマス、其原價ガ普通ノ醫師ノ所ニ參リマス、可ナリ高い値段ニナルノデゴザイマスケレドモ、若シ六〇六號ノ原價ト、ソレニ對スル注射ノ料金ノミガ「プラス」サルレバ大シテ高いモノデハナイト思フノデアリマス、併シ他ノ病ノ藥代ニ比ベマスルト幾分ハ高價ニ在ルモノデアリマス、ガサウ云フ事ノ爲ニ此條文ヲ加ヘテ著シキ不行跡ト云フ言葉デアリマスガ、今政府委員ノ御答辯ノヤウニ著シイト云フ言葉ガ甚ダ抽象的デアリマス、サウシマスルト此法文制定ノ精神ハサウデアリマシテモ、事實ニハ著シイト云フ言葉ノ解釋ヲ著シク高調シマシテ、

サウシテ所謂花柳病ニ對シテハ大抵是ノ治療ヲ健康保險法ハ拒絶シテ行クト云フヤウナ傾向ヲ増シテ行クト思フノデアリマス、是ハ單リ健康保險法ニ止マラズ、一切ノ法律ガ法律制定ノ時ノ精神及其説明ハ可ナリ「ルーズ」ナモノデアリマスガ、實際ニソレガ行ハレル時ニナッテハ可ナリ峻烈ニ行ハレテ行クト云フコトハ、今日マデノ萬般ノ傾向デアリマス、況ヤ今説明ノアリマシタヤウニ、最モ其病氣ノ多イ花柳病ニ對シテ、之ヲ著シキ不行跡ト認メテ拒絶セラレルナラバ、今日ノ労働者ハ花柳病ニ關スル救護ノ機關ヲ失フト思フノデアリマス、故ニ著シキ不行跡ト云フ言葉ガ甚ダ抽象的ニシテ、將來頻繁ニ問題ヲ起ス虞ノアル言葉デアリマス

ガ故ニ、是ハ當然抹殺サルベキダト思フノデアリマス、鬭争若クハ泥酔ト云フ原文ノ上ニ加ヘルニ著シキ不行跡ト云フ不明瞭ナ言葉ニ依テ、此健康保險法六十一條ハ改善ニアラズシテ改惡ニナル見透シガ今日カラハッカリ付ケラレルト思ヒマスルガ、此著シキ不行跡ト云フ文字ヲ抹殺爲サツテハ如何デアリマスカ、御伺致シマス

○長岡政府委員 私ノ説明ガマダ不十分デアツタカト考ヘマスガ、第一ニ申上ゲタイノハ、只今淺原君ハ花柳病ガ疾病ノ中勞働者トシテハ最も多イト云フヤウナ觀察デゴザイマシタガ、事實ハサウデゴザイマセヌ、花柳病ハ極ク少數デアリマシテ、健康保險ニ依テ治シマスル病氣ハ矢張腸胃病ト呼吸器病トガ、一番大多數ヲ占メテ居リマス、ソレハドウデモ宜イト致シマシテ、特ニ申上ゲタイノハ、花柳病ハ假令遺傳デアツテモ、又感染シタモノデアツテモ、今日ノ醫學上ハ治癒シ得ベキ病氣デアツテ、不治ノ病氣デハナイノデ、完全ニ治癒シ得ルノデアアル、ソコデ私ノ先程ノ説明ガ足ラナカッタカト存ジマスガ、此病氣ニ罹ッタ者ヲ治癒シテヤラヌト云フ趣旨デハナイノデ、著シキ不行跡ニ依テ花柳病ニ罹ツテモ、冒頭ニ申上ゲタヤウニ、例ヘバ出産手當金ヲヤル場合ニ、ソレガ正當ノ結婚ニ依テ産レタモノデアツテモ、正當ノ結婚ニ依ラザルモノデアツテモ一率ニヤツテ居ルヤウニ、現在

ノ法律デハ治癒シテヤラナケレバナラヌ、今回ノ改正デモ花柳病ハ治シテヤルガ、ソレニ對シテ、治療期間中先程申上ゲマシタ百分ノ六十ト云フ手當金ヲヤリマス、一圓ノ日給ナラバ六十錢ノ傷病手當金ヲ給シテ居ル、病氣ハ治シテヤルガ、著シキ不行跡ニ依テ本人ガ罹ッタ場合ニ手當金ヲ減額シ、或ハ支給シナイト云フヤウナコトハアツテモ宜カラウト云フ趣旨デゴザイマシテ、著シキ不行跡ノ結果ニ依タモノデモ、病氣ハ治シテヤルト云フコトニナツテ居リマス、ソレカラ將來此爲ニ非常ニ不都合ナ場合ガ生ジハセヌカト云フコトデアリマシタガ、法文ニ年何回ト云フコトヲ規定スルコトハ困難デアルガ、執行スルニ當ツテハ大體ノ規定ヲ設ケテ、是ニ該當スルモノハ、是ノ額ニ於テ傷病手當金ヲ給スルコト云フヤウナ規定ヲ設ケテ、實際ノ場合ニ之ガ濫用ヲ防グ積リデアリマス

○淺原委員 サウスルト著シキ不行跡ニ依ル花柳病ニ對シテモ病氣ハ治シテヤルガ、手當金ニハ制限ヲ加ヘルト云フノデアリマスカ
○長岡政府委員 全部又ハ一部ヲ支給セザルコトヲ得ト云フノデアリマス
○淺原委員 全部又ハ一部ヲ支給セザルコトヲ得ト云フ其抽象的ノ言葉ハ、事實ニ於テハ全部支給セザルコトヲ得ト云フ風ニ解釋セラレテ行ク虞ガアリマスガ、ソレニ對シテハドウデアリマスカ

○長岡政府委員 ソレニ付テモ内規ニ依テ、本人ノ家族ノ有無ト云フヤウナコトヲ標準ニ置イテ、相當ノ制限ヲ加ヘル積リデアリマス、詰リ本人ガ獨身者デアツテ、非常ニ道樂者デアルト云フヤウナ場合ト、本人ニ著シキ不行跡ガアツテモ家族ノアル場合ニハ、其家族ニハ何ノ罪モナイノデ、其間衣食ニ困ルト云フヤウナ場合ニハ相當加減シナケレバナラヌ、ソレ等ノ點ニ付テハ之ヲ實際ニ適用スル上ニ於テ、内規ヲ定メル積リデアリマスガ、唯常識カラ考ヘテ、性懲リモナク、度々治スト罹リ、治スト罹ルト云フヤウナ者ニ對シテ、病氣ヲ治療シテヤルノハ致方ガナイトシテ、法ニ定メタ手當金ノ全部ヲ支給シナケレバナラヌト云フコトハ、冷カニ考ヘテ不自然ノヤウナ感ガ致シマスガ如何デゴザイマセウカ

○淺原委員 度々申上ゲルヤウニ、此場デ社會局長官ト私トノ應答ハ其通りデアリマスケレドモ、事實ハ再々不行跡ヲ重ネテ、改心ノ見込ナキ者ノミニ適用スルカト云フニ、サウデハナクテ、花柳病者全體ニ對スル適用ニ陷ル弊ガ多イ、私ハ此委員會ニ於ケル質問應答ニ依テ生ズルヤウナ空氣ハ事實ニ於テハ生ゼズシテ、花柳病ノ治療ニ對スル一ツノ制限ニナルト云フコトヲ申上ゲテ居ルノデアリマス、其點ハ長官モ能ク理解シテ戴キタイト思ヒマス、ソレハ第

二トシテ、然ラバ著シキ不行跡ノ結果、花柳病ニ罹リタル者ニ對シテハ、其病ハ治療シテヤルガ、手當ヲ一部又ハ全部支給セザルコトニスルト云フ事ハ、花柳病ニ對スル一種ノ懲罰デアアル、斯ノ如キ懲罰ヲ健康保險法ノミニ適用サレルノハ如何ナモノデアアルカ、若シ斯ノ如キ懲罰ヲ一般ニ適用シテ、罰金デモ課スルコトニシタナラバ、日本人ノ大部分ハ罰金ヲ課セラレルト思フノデアリマス、單リ勞働者ノミニ對シテ、著シキ不行跡ト云フ意思ヲ罰スル爲ニ、一部又ハ全部ノ手當金ヲ與ヘナイト云フコトハ、勞働者ニ取ツテハ何日分カノ拘留ト匹敵スベキ罰則デアリマス、單リ健康保險法ニ於テ、不行跡ナル者ニ對シテ罰則ヲ御設ケニナル事ハ、日本ノ法律何レノ點ヲ見テモナイノデアリマシテ、ソレヲ健康保險法ニ依テ開拓サレルコトハ結構デアリマス、併シソレデハ諸法トノ釣合ヒガ取レナイト思ヒマスガ、此罰則ノ觀念ハ如何ナモノデゴザイマセウカ

○長岡政府委員 私ハ決シテ淺原君ノ御説ヲ反駁シヨウト云フヤウナ意思デ申上ゲルノデアアリマセヌ、其點ハ豫メ御諒解ヲ願ツテ置キマス、斯ノ如キ規定ヲ置ク結果ハ、執行ガ實際ニ於テ嚴ニ流レル、殆ド花柳病患者ハ傷病手當金ヲ貰ヘザル結果ニナリハセヌカ、此委員會ノ空氣ハ空氣トシテ、實際執行ノ場合ニハ、此處デ豫期セザルヤウナ

現象が現ハレルデアラウト云フ御懸念
デアリマシタガ、實際ハサウデハアリ
マセヌ、例ヲ申シマス、泥酔又ハ闘争
ニ依テ自カラ負傷シタ者ハ、手當金ヲ
支給シナイト云フコトガアリマスガ、
實際適用ノ場合ニ於テハ事實ノ立證ガ
困難デアリマス爲ニ、泥酔又ハ闘争ノ
爲ニ手當金ヲ支給シナカッタト云フ事
ハ極メテ少ナイ、大體ハ手當金ヲ支給
シテ居ル、花柳病ノ場合ニ於テモ、著シ
キ不行跡ト云フ事ヲ立證スルコトハ非
常ニ困難デアリマス、多クノ場合私ハ
數ノ上ニ於テ著シイ變化ヲ見ルトハ思
ヒマセヌ、併ナガラ其處ハ世ノ中ハ常
識ノ問題デ、先程淺原君カラ之ニ苦情
ヲ言フ勞働者ハ社會保險ノ性質ヲ理解
シナイモノデアルト云フコトハ、是ハ
御尤ナ御説デアリマス、ケレドモ實際目
ノ前ニ見テ居ッテ、自分等ハ始終保險金
ヲ取ラレルガ、一回モ其御世話ニナッタ
コトハナイ、然ルニ同ジ工場デ働イテ
居ル者ガ、性懲リモナク花柳病ニ罹ッ
テ、家ニ居ッテ百分ノ六十ノ金ヲ貰ッテ居
ルト云フコトハ、理窟上好イ感ジヲ與
ヘナイト云フコトハ情ニ於テ免レナイ
ト思フ、之ガ適用上非常ニ嚴ニ流レ
ト云フコトハ却テ反對デアッテ、適用
シテモ見ルベキ程ノ數字ガ現ハレテ來
ナイト思ヒマスケレドモ、常識上、感情
上、此位ノ規定ヲ置ク事ハ已ムヲ得ナ
イノデハナカラウカ、罰則云々ト云フ
コトガアリマシタガ、刑法上ノ罰則ヲ

科スル意味デナク、花柳ノ巷ニ出入ス
ル者ハ罰金ヲ取ッタ宜イデハナイカ、
純粹ナ理論カラスレバ、サウ云フ論モ
立ツカモ知レマセヌガ、ソレハ今日ノ社
會ノ常識カラ言ッテ、サウ云フ立法ハ出
來ベキモノデナイ、是ハ處罰スルノデ
ハナイ、或ル場合ニハ手當金ヲヤラヌ
コトモアリマセウガ、家族ノアル者等
ハ相當考慮スルノデアリマスカラ、執
行ノコトハ、私共ガ其衝ニ當ッテ居ル以
上ハ、淺原君ノ御懸念ノヤウナ事ノナ
イヤウニ、監督上十分注意スル積リデ
アリマス、ドウカ其程度デ御諒承ヲ願
ヒタイ

○淺原委員 恐入リマスガモウ一應御
尋致シマス、只今闘争、泥酔等ハ之ヲ立
證スルニ甚ダ困難デアル、故ニ規定ハ
斯ノ如クサレテ居ッテモ、餘リ適用ハサ
レテナイト云フ御言葉デアリマスガ、
然ラバ著シキ不行跡ハ尙更ニ立證困難
ナ問題デアリマス、所謂花柳ノ巷ニ頻
繁ニ入りマシテモ、ソレハ極秘ノ裡ニ
入ッテ行ク傾向ヲ見ルモノデアリマシ
テ、其立證ハ泥酔又ハ闘争ノ結果ヨリ
モ、モット立證ガ困難ダト考ヘマス、故
ニ夫程立證困難ナ所謂空文、畫ケル餅ニ
等シイ文字ハ御除キニナッタ方ガ私ハ
宜イト思フ、何故ナラバ頻繁ニ不行跡
ヲ爲シテ花柳病ニ罹ッタ者ニ金ヲ與ヘ
ルコトハ、理窟ハ兎モ角感情上面白ク
ナイト云フ御言葉デアリマスガ、御説
御尤デアルト同時ニ、又著シキ不行跡

ナド、云フ文字ヲ書イテ、ソレニ由ッテ
花柳病ニ對スル治療ヲ怠ラシムルガ如
キ條文ヲ差加ヘマスコトハ、一般ニ取ッ
テ感情上亦却テ面白クナイト思フノ
デアリマス、故ニ此改正ハドウ説明ヲ
承リマシテモ改正ト云フ感ジガセズシ
テ、改惡ト云フヤウナ感ジガスルト同
時ニ、立證困難デアレバ更ニ餘リ必要
ノナイモノデアラウト思フガ故ニ、勞
働者ノ感情ノ上カラ言ッテモ御除キニ
ナルコトガ至當デハナイカト思フノデ
アリマスガ、如何デアリマスカ

○長岡政府委員 結局御意見ノ相違ニ
ナリマスガ、先程申上ゲマシタヤウニ、
是ハ實際ニ於テ私ハ餘リ適用ハナイト
思ヒマス、畫ケル餅ト云フ御説モアリ
マシタガ、或ハ是ハ畫ケル短刀カ、畫ケ
ル拳銃ミタヤウナモノデ、之ニ依テ非
常ニ保險給付ヲ少クスルト云フヤウ
ナ效果ハナイト思ヒマスケレドモ、只
今申上ゲマシタヤウニ、ドウモ品行ノ
惡イ者ガ常ニ此保險給付ノ上ニ於テ得
ユスルト云フヤウナ不平ヲ除キ、又或
場合ニ於テハ威嚇ト云フ文字ハ少シ過
ギルカモ知レマセヌガ、餘リ不品行ヲ
スルト傷病手當ヲヤラヌコトガアルゾ
ト云フ警戒ヲ與ヘルコトガ、法ノ施行
ノ上ニ於テ圓滿ヲ期スルコトニナルダ
ラウ、斯ウ云フ趣旨デアリマシテ、ソレ
以上ハ御意見ノ相違ニナルカト考ヘマ
ス

○淺原委員 其様ニ考ヘマスガ故ニ、
其點ハソレヲ以テ終リマス、第七十條
ノ一項ニアリマス費用十分ノ一ト云フ
コトヲ大藏當局ノ説明ニ依リマスレバ、
一年一人平均二圓ト改メルト仰シヤル
ノデアリマスガ、今迄ノ經驗ニ依ルト
二圓ハ何分ノ一ニ當リマスカ

○長岡政府委員 ソレハ大藏省主管ノ
問題ニナリマスカラ、大藏省ノ政府委
員ガ出マシタトキニ御答ヲ申上ゲマス

○淺原委員 今日ハ健康保險法第七十
二條ノ規定ノ、根本的改正ノ必要時ニ
迫ッテハ居ナイダラウカト思フ、私達ノ
考ヲ以テスレバ資本金、勞働者半額負
擔ハ理論ノ上カラ言ッテモ、實際ノ上カ
ラ言ッテモ、公平ナ負擔方法デハナイカ
ノヤウニ考ヘルノデアリマス、吾々ハ
切メテ勞働者ノ三分ノ一負擔、資本金
ノ三分ノ二負擔、ソレガ社會保險ノ性
質ヲ帶ビルモノダト思フノデアリマス、
今日ノ勞働者ノ生活狀態ニ於テ、半額
負擔ヲ爲サシメルト云フコトハ可ナリ
ノ苦痛デアリマスガ、之ニ對シテハ改
正ノ一指ヲモ染メテ居ナイ、ソレハ先
刻御説明ニナリマシタヤウニ、根本的
改正ヲ爲サントスルモノデハナクシテ、
事務上ノ改正ヲ爲スモノデアルト云フ
御意見ニ依テ、其概念ダケハ受取ルコ
トガ出來マスガ、此條文ニ對スル具體
的ナ御考、二分ノ一ノ負擔ヲ以テ妥當
ナリトスルコトハ、今日二箇年ノ經驗
ニ徴シテモ尙然リデアルト云フ具體的
ノ御意見ヲ承リタイト思フノデアリマ

ス

○長岡政府委員 此問題ニ付キマシテモ色々勞資兩方面カラ御意見ハ承ッテ居リマス、社會保險ノ性質カラ申シマシテ、事業者モ其幾分ヲ負擔シ、勞働者モ其幾分ヲ負擔シ、而シテ國民全般、即チ國費ニ於テモ其幾分ヲ負擔スルト云フコトハ、是ハ社會保險ノ通則上明ナ話デ、其勞働者ノ負擔スル割合ヲ成ベク少クスルヤウニシテ貫ヒタイト云フコトハ、是ハモウ屢々サウ云フ御意見ガアッタノデアリマス、又此無產階級ヲ代表サレテ居ル立場カラ、サウ云フ御議論ノ出ルコトハ是ハ御尤ナコト、考ヘマス、併シ先程モ申上ゲマシタヤウニ、

斯ル法ノ根本ヲ動カスヤウナ大改正ニ至リマス、今日ハ尙其時機デアリマセヌノデ、之ニ付テハ今少シク研究ノ餘日ヲ與ヘテ戴キタイト考ヘルノデアリマス

○淺原委員 是ハ根本問題デアリマシテ、無產黨カラ健康保險法改正法律案ヲ提出致シテ居リマス故ニ、其時無產黨ノ立場ヲ明瞭ニ説明致シマスコトガ、併セテ今日ノ現行法ニ對スル無產黨ノ不滿ノ點ヲ摘示シ得ルト思フノデアリマス、故ニソレハソレダケニシマシテ、健康保險施行令ノ第五條第四號ニ限リマス、日本ノ勞働者特ニ日傭勞働者ニ取ッテハ誠ニ重大ナ關係ヲ規定シテ居ルノデアリマス、ソレハ平均賃銀ノ算定方法、所謂標準報酬ノ決定方法ニ

付テ稼働賃銀ヲ稼働日數デ割ラズシテ、稼働賃銀ヲ既往三ヶ月ノ九十日デ割ルヤウデアリマス、其論理的根據ハ何處ニ在ルノデアリマスカ

○長岡政府委員 是モ結局私ノ御答申上ゲマスコトハ御満足ヲ得ナイダラウト考ヘマスガ、一應ノ根據ダケ申上ゲテ置キマス、詰リ稼働賃銀ト云フコトニナリマス、例ヘバ炭坑ノ如キモノハ三十日ノ内三十日働クト云フ者ハ有リ得ナイ、大體二十日働イテ、十日休ムト云フコトガ普通デアッテ、或ハモット働ク日ガ少ナイ所ガアルカ存ジマセヌ、併シ其人ノ生計ト云フモノハ其總額デ以テ維持シテ居ルノデアアル、大體一日ニ二圓ト假定致シマス、二十日働ケバ四十圓ニナリマス、其四十圓ヲ以テ三十日ノ生計ヲ維持スルト云フコトガ實際ノ狀態デアアル、然ルニ休業ノ日ヲ除外シテ計算致シマス、偶々其一月ニ於テ働ク日數ガ多カッタ云フ時ニ其人ノ標準賃銀ハ非常ニ高クナル、隨テ保險料モ高クナリマスケレドモ、傷病手當金ヲ貰フ率モ高クナル、又其次ニ働ク日數ガ少ナクシテ一ヶ月ノ所得ガ少ナケレバ保險料モ安クナリ、傷病手當金モ安クナル、斯ウ云フ結果ニナリマシテ、勤怠ト云フコトヲ平均シテ考ヘマス、要スルニ過去一定ノ期間ヲ抑ヘマシテ、其間ニ本人ノ生計ヲ維持スベキ賃銀ト云フコトヲ標準トスル方ガ公平デアラウ、一應サウ云フ理由デ

斯ウ云フコトヲ法文ニ書キ現ハシマシタ次第デアリマス

○淺原委員 私ハ所謂日傭勞働者ノ充滿シテ居リマス北九州ニ生活ヲ致シテ居ル者デアリマス、故ニ北九州ノ産業ノ大半ヲ占メテ居リマス所ノ鑛山勞働者ノ賃銀狀態ヲ考ヘテ見タイ、是ハ獨リ北九州ノミニ非ズシテ、所謂健康保險法施行令第五條第四號ノ適用ヲ受ケマスル被傭勞働者ハ、其大部分ハ鑛山勞働者デアリマスガ、昭和三年ノ内閣統計局ノ調べニ依リマスルト、此工場勞働者ノ一日ノ平均賃銀ハ、本給一圓四十四錢ニナッテ居ルノデアリマス、併シ是ハ本給デアリマシテ、工場勞働者ハ一圓四十四錢ノ本給ノ上ニ加フルニ割増モアリマス、或ハ居残りモアリマス、甚シキニ至ッテハ工程拂ヒモアリマス、大抵是ハ二圓乃至二圓二、三十錢ニナルノデアリマス、而モ工場勞働者ハ三十日間ノ日ノ中ノ公休ヲ除キ、日曜四日ヲ除イテ二十六日、或ハ一日、十五日ノ公休ヲ除イテ二十八日ヲ連續勤務シ得ル性質ノ下ニアアルノデアリマス、然ルニ鑛山勞働者ノ平均賃銀ハ、同ジク昭和三年ノ統計ニ依リマス、一圓五十八錢トナッテ居リマスガ、併シ鑛山勞働者ノ收入ハ是切リデアアル、割増モナケレバ居残りモナイ、工程拂モナイノデアリマス、總收入ノ平均ガ一日一圓五十八錢トナッテ居ルノデアリマス、而シテ全額一圓五十八錢ノ收入ヲ得

ル所ノ勞働デ、三十日間ノ中幾日鑛山勞働者ハ勤メ得ルカト申シマス、鑛山ノ勞働ハ三十日間働キ得ルコトハ絶對不可能デアリマス、此委員會ハ偶然ニ私達福岡第二區ノ選舉區カラ三名ノ委員ガ出テ居ルノデアリマスガ、此委員ノ方モ十分御存知デアラウト思ヒマスガ、同時ニ私ハ鑛山勞働者トシテ實際鶴嘴ヲ二箇年持ッテ生活シテ居ル者ダケニ明瞭ニ知リ得ルノデアリマスガ、鑛山勞働者ハ地下數千尺ノ底ニ潛ッテ、眞ッ暗ノ中デ勞働致シマスルシ、空氣ノ流通ト云フモノハ惡ク、其過激ナル勞働ノ結果トシテ、如何ニ精勤致シマシテモ一箇月三十日ノ中ニ二十日間働クト云フノデアレバ最高デアリマス、戰時中各鑛山ガ所謂精勤手當ト云フモノヲ與ヘマシタ、其精勤手當ノ標準ハ二十三日、二十四日、最高ノ所デ二十五日、併ナガラ他ノ鑛山ハ別トシマシテ、筑豊炭山十三萬ノ勞働者ノ中ニ、一箇月二十五日間働キ得ル者ハ、千人ニ一人アルヤナシデアリマス、筑豊ノ鑛山勞働者ノ聯合會ニ於テ發表シテ居ル所ニ依リマスレバ、三十日間ノ中ニ十七日間ノ稼働日數ガ普通ノヤウデアリマス、聞ク所ニ依レバ十日休業二十日精勤、十、二十ト云フヤウナ分ケ方モアルサウデアリマスガ、二十日ト致シマシテモ三十日ノ三分ノ二シカ働ケナイ、然ラバ一日ノ平均賃銀ハ一圓五十八錢ト出テ居リマスケレドモ、其ノ一圓五

十八錢ハ三十日間ニ働イター一日ノ平均賃銀ニ非ズシテ、稼働日數ノ平均賃銀デアリマス、デアレバ一圓五十八錢ヲ三十倍スルモノデナクシテ、二十倍スルコトニナルデアリマス、工場労働者ノ本給ハ一圓四十四錢デアリマスケレドモ、是ハ最小限度二十六日ニ乗ゼラレルモノデアリマス、然ルニ鑛山労働者ハ一圓五十八錢ヲ先ヅ十八日間ニ乗ジテ見マス——工場労働者ハ一圓四十四錢ヲ二十六日ニ乗ジテ見レバ、一箇月ノ收入三十七圓トナルデアリマス、鑛山労働者ヲ十八日間ト見レバ、一箇月ノ收入二十八圓ニナルデアリマス、一日ノ平均賃銀トシテハ十四錢ノ多サヲ鑛山労働者ハ工場労働者ヨリ示シテ居ルデアリマスケレドモ、此一箇月ノ締切ヲ見マス、鑛山労働者ハ二十八圓デ工場労働者ハ三十七圓デアリマス、即チ九圓ノ開キガ出テ居ル、故ニ此二十八圓ノ鑛山労働者ヲ三十日デ割レバ、一日ノ平均賃銀ハ九十錢ニナリ、工場労働者ノ三十七圓ヲ三十日デ割テ見レバ、一日ノ平均賃銀ハ一圓二十錢ニナル、所謂統計ニ現レテ居ル工場労働者ノ平均賃銀ハ一圓四十四錢、鑛山労働者ノ平均賃銀ハ一圓五十八錢、此數デハ鑛山労働者ハ相當ノ收入ガアルヤウデアリマスガ、一箇月デ割テ見レバ鑛山労働者ハ九十錢、工場労働者ハ一圓二十錢デアリマス、況ヤ之ニ對シテ工場労働者ハ割増、居残り、

工程拂ガ加ヘラレル、故ニ平均賃銀ハ恐ラク二圓位ニナル、併ナガラ鑛山労働者ハ九十錢ボッキリデアアル、此收入ノ根本的差違ヲ吾々ハ現實ノ上ニ於テ否定スルコトハ出來ナイト思フ、況ヤ鑛山労働者ハ工場労働者ニ比シマシテ、其負傷災害率ハ非常ニ高イモノデアリマス、今私ガ内閣統計局ノ昭和三年度ノ統計ニ依テ申上ゲテ見マス、日本ノ鑛夫總數ハ三十一萬四千二百六名デアリマス、此三十一萬四千二百六人中デ一年間ノ災害總數ハ十八萬八千二百九十八名、三十一萬ノ中ニ災害數ハ十八萬八千二百九十八名、千人ニ付テ六百名ガ一年間ノ災害デアリマス、是程災害率ノ高イモノデアリマス、然ルニ工場労働者ノ災害ハドウデアアルカト云フト、百八十萬八千三百八十一名ノ現在ノ人員ノ中デ、一年間ノ災害率ハ二萬九千四百四十三名デアリマス、即チ工場労働者ノ災害率ハ一年間ニ千人ニ付テ十七名、鑛山労働者ハ千人ニ付テ六百名、而シテ此災害率ノ非常ナ相違ハ、勢ヒ災害ニ依ル所ノ傷病手當金ニ最モ關係ノ深イモノハ鑛山労働者ニナルト言ハナケレバナラス、然ルニ鑛山労働者ハ是程ノ莫大ナ災害者ガアル中ニ於テ其傷病手當金ハ、災害手當金トシテ與ヘラレル所ノモノハ、稼働賃銀ヲ九十デ割ッテ、其平均賃銀ヲ今ノ私ノ例ニ舉ゲター一圓五十八錢ノ中十八日間働イターシテ二十八圓、此二十八圓ヲ

三十デ割レバ一日平均賃銀九十錢、此九十錢ノ六十「パーセント」、即チ一日五十四錢ノ災害手當シカ受ケナイ、工場労働者ノ受ケル災害手當ト鑛山労働者ノ受ケル災害手當ト云フモノニハ是ダケノ開キガアル、故ニ健康保險法施行令第五條第四號ハ、工場労働者ニ取ッテハソレ程大切ナ問題デハナイノデアリマスガ、鑛山労働者ニ取ッテハ實ニ由々敷キ問題デアアルデアリマス、抑、此法制定ノ時ニ當ッテ今ノ説明デハ恐ラク満足ヲ買ハナイデアラウト云フ御前提ノ下ニ爲サツタノデアリマスカラ、已ムヲ得ナイトシマシテモ、此法制定ノ時ニ鑛山労働者ノ如キ賃銀狀態、又ハ災害狀態ニ在ルモノニ就テ何ガ故ニモウ少シ御親切ナ御考慮ヲナサレナカタカ、御伺シタイ

○長岡政府委員 只今ノ淺原君ノ御意見ハ、實際鑛山労働ニ御體験ノアル御立場上、無論其通リト存ジマスルガ、併シ御議論ヲ段々拜聽シテ居リマスルト云フト、結局鑛山労働者ノ賃銀ガ工場労働者ノ賃銀ヨリモ低イト云フコトノ御結論ニナルノデハナイカト考ヘマス、ソレハ此場合ニ於テ健康保險法ニ依テ解決スベキ問題ニアラズシテ、健康保險法ノ立場トシマシテハ、其人ノ所得ト云フモノガ大體休シタ日、當然休マナケレバナラス日、働イター日ト云フモノヲ、過去三箇月ナリ二箇月ナリ或ハ一箇月ナリ抑ヘテ、ソレデ大體生計ヲ維持シテ居ルモノデアアルカラ、其平均ノ賃銀ノ六割ヲ遣ルコトガ至當デアラウ、若シ稼働日數、稼働賃銀ト云フコトヲ標準ニ置キマスレバ、受ケル保險付ト云フモノハ幾分利益ガアルノデアリマスガ、保險掛金モソレニ依テ高率ニナルコトハ免レナイ、ソレガ假ニ忍ビ得ルトシテモ、例ヘバ一箇月ノ中二十日働ク、或ハ十七日トシテモ宜シイ、十七日働イテ其賃銀ト云フモノヲ標準報酬ト算定致シマシテ、其六割ヲ遣ルコトニ致シマスレバ、詰リ病氣ヲシタ方ガ一箇月ノ平均收入ガ多クナルト云フ場合モ想像シ得ル、即チ健康保險料ノ支拂トシテハ、其人ノ平均報酬、其賃銀ニ依テ家族ナリ自身ノ生計ヲ維持シテ居ル總收入カラ割出シマシテ、ソレニ依テ十分ノ六ヲ割出スコトガ至當デアアル、然ラズンバ病氣ヲシテ居ッテ、稼働日數ノ六割ヲ貰フト云フコトデアレバ、働カナイデモ他ノ病氣ニナラナイ鑛夫ト殆ド同額ノ收入ヲ得ラレル、斯ウ云フ不自然ナ結果ガ起ルノデアリマス、要ハ淺原君ノ御説ノ結論トシテハ、鑛山労働者ノ賃銀ガ工場労働者ノ賃銀ト比較シテ諸般ノ狀況カラ薄イ、即チ稼働日數災害率ト云フモノニ較ベテ低過ギルカラ、斯ウ云フ結果ニナルト云フ結論ニナルデハナイカト思フ、其事ハ今日議論ハ致シマセヌガ、其問題ヲ健康保險法ニ依テ解決スルコトハ出來マセヌ、健康保險法ノ立場トシテハ平

均日數ニ依テ平均日額ト云フモノヲ推定スル以外ニ方法ハ無イト思ヒマス、要ハ此健康保險法施行細則ニ涉ッテ、淺原君ノ立場トシテハ色々御考モゴザイマセウ、改メタイ點モゴザイマセウ、併シ今日此法全般ニ涉ッテ淺原君ト應答致シマスコトハ、非常ニ長時間ヲ要スル問題デアッテ、只今承リマス、無黨ノ議員諸君カラ、此法ニ根本的ノ改正ヲ加ヘル、即チ淺原君ノ立場トシテ理想トハ言ヘナイガ、完全ニ近イ法制ヲ不日提出スルト云フコトデゴザイマスカラ、其場合ニ御相談ヲ致シタイト思ヒマス、根本的ノ御不滿ニ付テハ淺原君御提出ノ健康保險法ノ改正法案ガ委員會ニ懸リマシタ時ニ、篤ト御希望ヲ承リ、又私共ガ知ッテ居ルコトハ其場合ニ申上ゲルコトガ適切デハナイカト思ヒマス、是ハ或ハ私トシテ言ヒ過ギタカモ知レマセヌガ、御相談ヲ申上ゲルノデアリマス

○淺原委員 巧妙ナ答辯ノ回避デアリマシテ、今長官カラ根本的ニ觸レタ意見ト云フ仰セガアリマシタ、又私ノ申シマシタコトガ、鑛山労働者ト工場労働者ニ對スル賃銀ノ論ニ歸スルヤウデアアル、工場労働者ヨリ鑛山労働者ノ賃銀ガ安イカラ、サウ云フ問題ガ起ルト云フ私ガ結論ヲ付ケタヤウニ仰セラレマシタガ、私ハサウ申シタノデハアリマセヌ、稼働日數ノ關係ガ根本的ニ違フ、所謂健康保險法施行令第五條第

四號ノ稼働日數ニ關スル問題デアリマス、工場労働者ハ一箇月ニ二十六七日労働シ得ルガ、鑛山労働者ハ一箇月ニ十七八日シカ労働シ得ナイ、稼働率ト云フモノガ工場労働者ニ比シ根本的ニ少ナイ、其鑛山労働者ニ向ッテ第四號ヲ適用セラレルコトハ、工場労働者ノ利害關係ハ甚シクナクテモ、鑛山労働者ニ取ッテハ重要ナ問題デアル、故ニ此一項ニ對スル長官ノ改正の御意見ヲ伺ッテ居ルノデアリマス、施行令第五條第四號ト云フ一項ノ改正意見デアリマスカラ、根本的改正意見デハナイノデアリマス、今申上ゲマシタヤウニ賃銀ガ少イト云フコトハ、健康保險法ノ問題デハナイト仰シヤルガ、賃銀ガ少イト云フノデハナイ、稼働日數ガ少イノデアリマス、稼働日數ノ少イ鑛山労働者ヲ九十日割ルコトガ誤ッテ居ル、斯ウ云フ意味デアリマス、稼働賃銀ヲ稼働日數デ割ラズシテ、九十日割ルコトガ工場労働者ト鑛山労働者トノ間ニ非常ナ開キガ出來テ來ル、賃銀其モノハ開キデハアリマセヌ、此健康保險法施行令第五條第四號ノ施行ノ結果大キナ開キガ生ズル、故ニ健康保險法以外ノ問題デナク、健康保險法、ソレ自體ノ問題デアリマス

○長岡政府委員 同一ノコトヲ御答申上ゲテ甚ダ恐縮デゴザイマスガ、御質問ガ稍、同一ノ御趣旨デゴザイマスカラ、重ネテ申上ゲルコトヲ御許シテ願

ヒタイ、詰リ健康保險法ノ立場トシテハ、假ニ工場労働者ガ二十七日働イテ三日休ム、鑛山労働者ガ十七日働イテ十三日休ム、其數字ガ適確デアルヤ否ヤハ別トシテ、假ニソレヲ前提トシテ論ジマスレバ、工場労働者ノ一箇月ノ生計ト云フモノハ、二十七日間ノ賃銀ヲ得テ三日休ンデ居ルト云フ状態カラ、其總額ヲ以テ一箇月間ノ生計ヲ維持シテ居ル、鑛山労働者ハ、十七日假ニ働クトシマスレバ、十七日働イテ十三日休ム、此十七日分ト云フモノデ、一箇月ノ生計ヲ維持シテ居ル、斯ウ結果ニ於テハ見ナケレバナリマセヌ、サウ致シマスレバ病氣ノ間、若クハ負傷シテ働ケナイ間、傷病手當金ヲ出シマスノニ、其一箇月間ニ得タ總收入デ、三十日間生活シテ居ルト見レバ、其平均日額ノ六割ト云フモノヲ支給スルト云フ立場ニナル外ハナイノデアリマシテ、是以上同ジ事ヲ私申上ゲルノモ甚ダ恐縮デアリマスカラ、簡單ニ其事ダケ繰返シテ申上ゲマス

○淺原委員 數字ガ適確デアルカドウカト云フコトハ、自ラ別箇ノ問題デアルト仰シヤイマスガ、大シタ數字ノ違ヒハ無イト思ヒマス、事實上五、六十錢シカ鑛山労働者ハ災害手當ヲ貰ヘナイノデアリマス、ソレヲ以テ鑛山労働者ノ健康保險法——是ハ獨リ健康保險法ノ規定ノミデハナク、工場法施行令第十六條、鑛夫勞役扶助規則等ニ規定サ

レテ居ルコトデアリマス、所謂健康保險法、工場法施行令及鑛夫勞役扶助規則全體ヲ一貫セル共通ノ問題デアリマス、五十錢ヤ六十錢ノ災害手當ヲ貰ッテ、鑛山労働者ガ生活出來ルモノト思ッテ居ラレカドウカ、ソレハ成程社會局ノ一室ニ在ッテハ、單ナル理想論トシテ聽エルカモ知レマセヌガ、實際ノ鑛夫ノ生活ノ中ニ入ッテ行クト、舊法ヲ改正セラレテ新法ニナッテ、所謂災害手當金ハ低下サレテ居ル、所謂鑛山労働者ニ取ッテハ新法ハ改正ニアラズシテ改惡ノ極デアリマス、其不平ガ充滿シテ居ルノデアリマス、先刻御説明ノ中ニ斯ウ云フ御言葉ガアリマシタ、働ク者ト働カナイ者、所謂怠惰ナ者ト勤勉ナ者トノ間ガ不公平ニナル、故ニ稼働賃銀ヲ稼働日數デ割ラズシテ、稼働賃銀ヲ九十日割ルコトガ至當デアルト云フ御考ノヤウデアリマスガ、働ク者ト働カナイ者トノ不公平ヲ緩和スル爲ニコソ六十「パーセント」ト云フ規定ガ作ッテアルノデアリマス、故ニ其一ツヲ以テ働ク者ト働カザル者トノ公平ガ保タレテ居ルト思フノデアリマス、故ニ此健康保險法施行令第五條第四號ノ規定ハ、鑛山労働者ニ取ッテ日常生活ニ最モ重大ナ關係ヲ持ツモノデアリマス、ソレヲ單ニ議論ノ相違ト云フコトデ片付ケズニ、モウ少シ私ハ誠意ノアル御改正ニ手ヲ御染メニナルベキデハナカラウカト思フノデアリマス、鑛山労働者

ニ取りマシテハ、先刻申上ゲマシタヤ
ウニ非常ニ災害率ガ高イ、而モ其災害
手當ハ實際ニ六十錢以上ヲ越エマセ
ヌ、非常ニ成績ノ良イ者デ九十錢デア
リマス、普通ハ五十四、五錢デアリマ
ス、左様ナ規定ヲ以テ、果シテ妥當ノ規
定ト御考ヘニナツテ居ルノデアアルカド
ウカ、三十一萬人ノ鑛山労働者ノ生活
ヲ保障シ得ラル、社會立法デアルト御
考ヘニナツテ居ルカドウカ、私ハモウ少
シ、誠意ノアル改正ニ積極的ニ手ヲ染
ムベキデアツテ、徒ニ調査中ニ藉口スベ
キデナイト思ヒマス、長官ノ人道主義
の御答辯ヲ承リタイノデアリマス

○長岡政府委員 ドウモ一ツコトヲ申
上グルヤウデ甚ダ恐縮デアリマスガ、
鑛山労働者ノ賃銀ガ低イトカ安イトカ
云フコトハ、是ハ自ラ別箇ノ問題デア
ル、今日鑛山労働者ガ工場労働者ノ賃
銀ニ比シテ安イト云フヤウナ結論ハ、
責任アル政府委員トシテ申上ゲ兼ネ
ル、是ハ自ラ別箇ノ問題デアルト云フ
コトヲ私ハ申上ゲテ居ルノデ、詰リ働
ク日數ガ少ナイ、休ム日數ガ多イ、多イ
ガ併シ是ハ現實ノ事實デアツテ、ソレヲ
平均シテ一箇月間ノ生計ヲ維持シテ居
ル、而シテ病氣ノ場合ニ於テ六割ヲ支
給スルト云フコトハ、是ハ法ノ立テ方
デ、六割ガ安イカ高イカハ別問題トシ
テ、本人ナリ家族ナリノ生活ヲ稼働日
數ト休ム日ト平均ラシテ一箇月ナリ三
箇月ナリノ生計ヲ維持シテ居ル、病氣

ノ場合ニ六割ト云フコトガ惡イ、七割
デナケレバイカヌト云フコトハ別トシ
テ、六割ト云フ以上ハ其平均收入ノ六
割ト云フコトデ抑ヘルノハ、是ハ自明
ノ理デアラウト思フノデアリマスガ、
如何致シテモ之ニ付テ誠意ヲ御認メ下
サラナケレバ洵ニ恐縮スルノデゴザイ
マスガ、私ハ十分誠意ヲ以テ御答致シ
テ居ル積リデアリマス

○淺原委員 長官ニモウ一應申上ゲマ
ス、鑛山労働者ト工場労働者トノ間ニ
稼働賃銀ニ相違ガアツテ、ソレハ何遍
言ツテ見テモ同ジコトデ、何トモスルコ
トガ出來ナイト仰シヤイマス、何遍御
尋ネ致シマシテモ其處ヘ態問題ヲ引
張ツテオ行キニナルコトハ、誠意ガアル
コトヲ認メヨト仰シヤイマシテモ、ド
ウモ認メ難イノデアリマス、根本的ナ
工場労働者ト鑛山労働者ノ賃銀ノ違ヒ
デナクシテ、働ク日數ガ根本的ニ違フ
ノデアアルガ故ニ、其働ク日ニチニ付テ
規定シテ居ル健康保險法ノ適用ニ依テ
異ツテ來ル、賃銀ノ違ヒニ依テ災害手當
ガ違ツテ來ルノデナクシテ、所謂標準賃
銀算定方法ノ結果、災害手當金ガ違ツテ
來ルノデアルト斯ウ私ハ申上ゲテ居ル
モノデアアル、長官トシテハ明瞭過ギル
程明瞭ニ御分リニナツテ居ルニモ拘ハ
ラズ、賃銀ノ差額デアツテ社會局ノ管轄
以外デアルト、其處ヘ問題ヲ引張ツテ行
カレコトハ、何遍御尋ネ致シテモ同
ジコトニナルヤウデアリマスカラ、私

ハ之ヲ以テ打切りマス
○佐々木委員長 ソレデハ之ヲ以テ休
憩致シマス、午後一時十分ヨリ再開致
シタイト思ヒマス、ドウゾ其御含ミデ
願ヒマス、一先ヅ是ニテ休憩致シマス
午後零時四分休憩

午後一時二十八分開議

○佐々木委員長 ソレデハ午前ニ引續
イテ會議ヲ開キマス

○久恒委員 私ハ保險法ニ付キマシ
テ、政府ノ御提案ノ案トハ少シ問題ガ
違フカモ知レマセヌガ、午前ニ淺原君
ガ御質問ナサレタコトニ付テ少シ簡單
ニ御尋シマス、健康保險ニ付キマシテ
百分ノ六十ヲ労働賃銀ニ對シテ坑夫ノ
災害扶助トシテ支給シテ居リマス、之ニ
付テ大分不公平ノ點ガアルヤウニ思ヒ
マス、此不公平ノ點ニ付テ長官モ午前
ニ大分御辯明ニナリマシタガ、此不公
平ヲ根本的ニ改革スル御意見ガアリマ
スルカ、アリマセヌカ、此點ニ付テ詳シ
ク御尋シタイ

○川越政府委員 先程淺原君デアリマ
シタカ、御質問ガアリマシテ、答辯ガ
殘ツテ居ッタサウデスカラ申上ゲマス、
被保險者一人當リ二圓トシテ計算致シ
マスルト、保險給付金ニ付テドノ位ニ
ナルカト云フ御尋デアリマスガ、百分
ノ十二・四ト云フコトニナリマス
○長岡政府委員 只今傷病手當金ノ十
分ノ六ト云フコトニ付テ増減スル意思

ガナイカト云フ御質問デゴザイマシタ
ガ、只今ノ所、御承知ノ通り現行法ニ於
テハ入院ノ場合ニ於キマシテハ相當之
減額シ得ルト云フ途ヲ開イテ居リマ
スノハ、獨身者ノ如キハ入院シテ居リ
マスレバ衣食住共ニ不自由ガ先ヅ或ル
程度マデナイノデアリマシテ、先ヅ當
座ノ煙草代ト小遣錢ガアレバ宜イト云
フコトニナツテ居リマスカラ、入院シテ
居ル場合ハ相當減額シ得ルト云フコト
ニナツテ居リマス、其他ノ場合ニ於キマ
シテハ、一律ニ百分ノ六十ト云フコト
ニ現行法ハ相成ツテ居ル譯デアリマス、
之ニ對シマシテ、果シテ十分ノ六ガ適當
デアルヤ否ヤト云フコトニ付キマシテ
ハ、唯労働者ノ生計調査ノ結果ニ依テ
先ヅ六割ノ收入ガアレバ家族ノ生計ヲ
維持スル最低限度ノ保障ヲ與ヘ得ルト
云フコトノ根據ガアルダケデアリマシ
テ、此生計調査ト雖モ完全ナモノデハ
アリマセヌ、一部分ノ拔檢査ノ結果斯
ルモノニナツタノデ、六割デ十分デア
ルカ、若クハ多少増減スル餘地ガアルカ、
又家族ノ多數少數ニ比例シテ之ヲ増減
シ得ル餘地ヲ造ル方ガ善イカ惡イカ、
是等ノ點ニ付キマシテハ諄ク申上グル
ヤウデスケレドモ、大體法ノ根本ニ關
スル問題デアリマスノデ、今回ハ此問
題ニ觸レテ居リマセヌケレドモ、先程
申シマシタヤウニ何レ近キ將來ニ於テ
本法ノ根本的改正ヲ致サナケレバナラ
ヌ時機ガ來ルノデハナイカト想像サレ

マスノデ、其際ニハ此問題ニ付テモ相當ノ考慮ヲ致サナケレバナラヌト云フヤウニ心得テ居ル次第デゴザイマス
○久恒委員 只今ノ御尋ニ對シテ政府委員ハ入院患者ニ對シテ多少ノ増減ト云フ考ハアリマスガ、其他ニ付テハ餘リ増減ト云フコトモナイシ、殊ニ百分ノ六十ヲ以テ傷病手當ト致シマスレバ、ソレデ生活ノ安定ハ稍付キハセヌカト云フコトデアリマスケレドモ、其事ニ付テハ不日此大改革ニ現ハレルデアラウカラ其際ニト云フコトデゴザイマスガ、私ハ取敢ズ先程淺原君ノ御尋ノヤウニ特ニ公傷患者ト致シマシテ、ハ百分ノ六十ト云フコトハ至テ少イ、何故カト云ヘバ、公傷患者ト云フモノハ、御承知ノ通り陸軍デハ一二三等ニ分ケテアルガ、是ハ其一等症ノ患者デハナイカト云フヤウニ思ヒマス、此一等症ノ患者ニ對シテ百分ノ六十ト云フコトハ私共ノ實見上確ニ少イ、之ヲモット増シテ貰ヒタイ、又普通ノ病人或ハ陸軍デ申ス三等患者、斯ウ云フ者ニ向ッテ百分ノ六十ヲ支給スルト云フコトハ、是ハ今政府委員ノ御答辯ニ依ルト、生活ノ安定ヲ病人ノ爲ニ圖ラセル、斯ウ云フコトデアアル、ソコデ百分ノ六十ヲ普通ノ病人ニ持ッテ行ッテ宛ガフト云フコトニナルト、只今炭坑ノ勞働者ノ賃銀ハ、此處ニ居ラレル淺原君モ能ク御承知デアリマセウガ、大概中心ガ一日平均二圓ト云フコトニナッテ居リ

マス、ソレハ全體ノ上ニ於テ之ヲ通算スルト一圓六七錢トナリマスガ、ソレニハ日役デ一圓カラ一圓二十錢或ハ一圓五十錢、一圓以下ノ者モ混ッテ之ガ平均シテ居ルノデアアル、ソレ故ニ一圓七八十錢トナッテ居リマスケレドモ、サウ云フ者ハ三十日ノ所ハ三十日續ケルコトニナルガ、サウ云フ者ハ日役ガ多イ、ソレカラ坑夫ト云フ者ハマア二十日乃二十四五日働ケバ能ク働ク方デア、サウ云フ者ニ對スル割合ヲ百分ノ六十ト致シマス、假リニ二圓トシテ二十五日働クト五十圓ニナリマス、其五十圓ノ百分ノ六十ハ三十圓デアリマス、此三十圓デ病人ノ生計ヲ圖ルコトガ出來マス、ソコデ作病ガ非常ニ多クナッテ居ル、此作病ハドウ云フ所カラ多イカト云フト、要スルニ人間ノ割合カラ多イ、之ガ健康保險ヲ實施スル以下デ、好イ所デ七ヲ僅カ超エル、ソレガ今日デハ十分ノ五或ハ十分ノ六ニ上ガルノガ殆ドアリマセヌ、ソコデ一割五六分ノ率ト云フモノハ能率ガ惡クナッテ來タ、是ハ健康保險ヲ實施シテ、健康保險ニ依テ勞働者ノ生活ヲ安定サセルト云フ目的デ、政府ト云フモノハ勞働者ヲ非常ニ愛シ、勞働者ヲ安心サセテ働カセルト云フ目的デヤリマシタモノガ、今日ハソレガ逆ニナッテ居リマス、ソレ故ニ能率ガ一割五六分モ減ジテ來テ居ル譯デアリマス、ソコデ能率ノ減ジテ居ル

高ト云フコトハ其原因ト、要スルニ銃豐ニ十二三萬居ラレマス工夫ノ中デ、今日手當ヲ幾ラ出スカト云ヘバ三百萬圓カラ出シテ居ル、此三百萬圓ト云フモノガ行クノハ、誠意ヲ以テ働イテ居テ自然ニ病氣ガ發生シタ者、或ハ公傷患者ノ爲ニソレダケノ金ヲ拂ッテ居ルノカト云フト、決シテサウデハナイ、所謂之ニ付テハ作病ガ大部分デアリマス、ソコデハ亂暴ナ言ヒ方カモ知レマセヌケレドモ、現ニ或ル方面ノ官廳ニ於キマシテハ、此健康保險ヲ實施シタ爲ニ、純良ナル工夫ヲ造リ、立派ナル成績ヲ舉ゲルト云フ目的ガ逆ニナリマシテ、殆ド情民ヲ造ルト云フヤウナコトニナッタト云フコトヲ言ッテ居ル者ガ或ル官廳ニハアリマス、ソコデ之ヲ私共ハ政府ナリ或ハ資本主ナリトシテ改革セヌト云フニ於キマシテハ、産業ノ發達ドコロデハナイ、此法ノ爲ニ産業ハ益々縮小シ、益々炭坑ナリ總テノ諸工業ノ賃銀ガ高クナル、之ガ爲ニ日本ノ諸工業ト云フモノハ興ルドコロデハナイ、益々倒レルヨリ外ハナイ、斯ウ私共ノミナラズ一般ガ申シテ居リマス、ソコデ私共ノ意見ト致シマシテハ、陸軍ノヤウナ式デ、一等患者ニ對シテハ百分ノ八十或ハ氣候ノ關係ヨリ起ッタ者ニ對シテハ百分ノ四十ナラバ四十、特ニ三等患者見タヤウナモノハ、工夫ハ土方ナドトハ生活ノ程度ガ違ヒマシテ、皆一軒

ノ家ヲ持チ、或ハ妻帶ヲシテ働イテ居ル者デアアルカラ、サウ遊廓ナドニ通ハナイデモ間ニ合フベキモノデアアル、ソレヲ行ク奴ハ要スルニ金ガ餘ッテ贅澤ヲシテ居ル奴デアアルカラ、サウ云フ人間ニ對シテハ、特ニ三等症トシテ百分ノ二十位ニ減ジテ貰ヒタイト云フ意見デゴザイマス、ソレデ能率ノ點カラ申上ゲマスルヤウニ、約三百萬圓ノ爲ニ却テ一割五分バカリノ能率ヲ減ジテ居ルト云フ結果ニナッテ居ル、是ハ特ニ傷病者ニ對シマシテ、殊ニ公傷患者ニ手當ヲ渡シ、ソレカラ死シタ時分ニ對スル扶助規則ニ對シテ支拂フタル分以外ニ、唯健康保險ニ依テ病人ニ對シテ拂ッタ分ダケガ約三百萬圓ニ近イノデアリマス、之ニ付テ政府ハドウ云フ御意見ガアリマス、極ク簡單ニ一ツ承リタイト思ヒマス
○長岡政府委員 只今久恒君ノ御意見ハ、健康保險實施ノ爲ニ作病ヲ設ケル弊ヲ生ズル、延イテ能率ノ減少ヲ來シテ居ル爲メ、本法施行ノ爲ニ情民ヲ養成スル恐ルベキ結果ガ生ジテ居ルト云フヤウナ御意見ニ拜承致シマシタガ、只今御述ニナリマシタヤウナ御意見ニ付キマシテハ吾々モ耳ニシタコトガ無論ゴサイマス、唯先程申上ゲマシタヤウニ、斯ノ如キ社會保健ノ廣キ範圍ニ互ニ法律ヲ全國一齊ニ施行シタト云フコトハ、我國トシテ初メテノ試ミデゴザイマシテ、此各方面ニ及ボス影響ノ甚

ダ多イ所ノ法律ヲ一齊ニ全國ニ施行シ
タト云フコトニ付キマシテハ、是ハ餘程
困難ヲ伴フコト云フコトハ當然ノ話デア
リマス、マダ法ノ施行後約二年ノ歲月ヲ
經過シタノニ過ギナイノデアリマシテ、
率直ニ申シマスルト私ハマダ此健康保
險ノ成績ヲ論ジ、其功罪ニ付テ判定ヲ
下スニハ、其時期デハナイノデハナカ
ラウカト云フヤウニ考ヘテ居リマス、
色ミノ見方モゴザイマセウ、併ナガラ
此健康保險ノ爲ニ或ハ能率ヲ増進シ、
或ハ勞働者ノ福利ヲ増進シタト云フヤ
ウナ喜ブベキ報告モ相當參ッテ居ルノ
デゴザイマスルガ、所謂此善事門ヲ出
デズ、惡事千里ヲ走ルデ、動モスレバ此
健康保險法ニ依テ生ジタル弊害ガ誇大
ニ報道サレト云フヤウナコトモ、是
ハナイデモゴザイマセヌ、私ハ今健康
保險法ノ效能書ヲ手前味噌的ニ申上ゲ
ル意志ハアリマセヌガ、善イニモセヨ、
惡イニモセヨ、マダ法ノ施行後二年ニ
シテ忽ニ此善惡可否ノ判定ヲ下スニハ
少シ早過ギルト思ハレル、今少シク經
驗ヲ經、時日ノ經過ヲ見テカラ之ニ對
シテ改ムベキ點ハ大ニ改メ、根本的ノ
改正ヲ加ヘル必要ガアレバ改正ヲ加ヘ
ナケレバナラヌ、斯ノ如ク信ジテ居ル
次第デゴザイマス、隨ヒマシテ只今公
傷患者ト仰セニナリマシタ即チ業務上
ノ疾病負傷ニ對シテ、此傷病手當金ヲ
増額スルガ宜イカ、業務外ノ普通ノ傷
病者ニ對シテ此傷病手當金ヲ増減スル

ガ宜イカ、三等症ト御話ニナリマシタ
コトハ恐ラクハ花柳病患者ノコト、考
ヘマスガ、之ニ付キマシテハ今回減額
シ得ルト云フ途ヲ開ク、之ニ付テ午前
申淺原君カラ色ミ意見ノ御開陳モゴザ
イマシタガ、此業務上ノ疾病ト業務外
ノ疾病或ハ負傷ニ付テ根本的ノ改正ヲ
加ヘテ、傷病手當金ヲ區別スルノガ善
イカ惡イカ、之ニ付キマシテモ同ジコ
トヲ申上ゲテ恐縮デゴザイマスルガ、
要スルニ是ハ法ノ根本ノ方針ニ關スル
問題デアリマスルガ故ニ、今暫ク藉ス
ニ時日ヲ以テシテ戴イテ、次ノ改正ノ
時期ニ至リマシテ、相當ノ經驗ノ熟ス
ルヲ待ッテ當局ノ意見ヲ定メテ、再ビ御
協贊ヲ願フコト云フ順序ニナルノデハナ
イカト考ヘテ居リマス、其時マデ近キ
將來ト思ヒマスルカラ、只今御開陳ニ
ナリマシタ問題ニ付キマシテハ、相當
研究ノ時日ヲ與ヘテ戴キタイト考ヘル
ノデゴザイマス

○久恒委員 只今長官ノ御答辯ニ依リ
マス、此健康保險ニ付テ大變良イト
云フコトヲ聞イテ居ルト云フ御話デ
ゴザイマシタガ、是ハ成程自分ニ病
氣ヲ目的トスルヤウナ人ニ於キマシテ
ハ前申上ゲルヤウニ百分ノ六十ト云
フコトニナリマスレバ、假ニ五十圓ノ
仕事ヲ致シマシテ百分ノ六十貫ヒマス
レバ先程申シマシタヤウニ三十圓ニナ
リマスルガ、仕事ヲ致シマスルト、五十
圓ノ仕事ヲスルニ付テハ、相當ソレニ

ハ日々ノ費用ガ要リマス、假ニ一日ニ
二十錢要ルトスレバ二十五日間働イテ
ソレニ對シテ五圓要ル、一方五十圓貫
ヒマシタ所デ五圓減ルト云フコトニナ
レバ四十五圓ニナル、病氣ヲシテ居レ
バ三十圓、働イテ非常ナ苦ミヲ見マシ
テ四十五圓貫フモノガ、病氣ヲシテ三
十圓取ルガ宜イカ、斯ウ云フコトニナ
リマス、家内ノ多イヤウナ人ハ無論
ソレハイケマスマイガ、假ニ女房ト二
人トカ子供一人位ノコトデアリマスレ
バ、炭坑ト云フモノハ他ノ方面トハ違
ヒマシテ、風呂錢ガ要ルデハナシ醫者
ノ賃銀ガ要ルノデナシ、家賃ガ要ルデナ
シ、焚物ガ要ルデナシ、唯米ト野菜ト醬
油ト云フヤウナモノガアリマスレバ、
三十圓貫ヒマスレバ親子三人位ノ生活
ハ安氣ニ暮サレル、ソレ故ニ先刻來申
上ゲル此百分ノ六十ノ爲メノ弊害ハ其
所ニ在ルノデアリマスカラ、仕事ノ嫌
ナ人ハデットシテ居ッテ月ニ三十圓貫
ヘルコトニナリマス、之ガソレヲ仕事ニ
スルト云フ弊ノ起ル所以デ、先刻來申
上ゲルヤウニ健康保險ヲ實施シタ爲ニ
一割五分カラノ能率ヲ下ゲル、ソレデ
サウ云フ連中ハ必ズシモ嫌デハナイ、
非常ニ喜ブニ違ヒハナカラウト思ヒマ
ス、ソレデ今即座ニ此法律ヲ改正スル
ト云フコトモ僅カ實施以來二年デア
ラシテ出來ナイト云フコトデゴザイ
マスガ、御參考ニ申上ゲテ置キマスガ、
或溫泉ニ私ガ參ッテ居リマシタ所ガ、溫

泉ノ醫者ノ曰フニ、健康保險ヲ實施シ
マシタ爲ニ私共ハ大變ニ迷惑ヲ致ス、
何故カト云フト、溫泉ニ來テ三十日モ
五十日モ此處デ入浴ヲシテ、歸ル間際
ニナッテ、私ハ何月何日カラ此溫泉ニ來
テ居ルガ、斯ウ云フ病氣デ來テ居リマ
ス、ソレデ溫泉ニ這入ッテ居ッタガ、貴方
ノ證明ヲシテ貰ヒタイ、證明ヲシテ貰
ヒマスレバ、私ハ健康保險ニ依テ百分
ノ六十ニ該當スルダケノ傷病手當ヲ請
求スルコトガ出來ル、ソレヲ願ヒタイ
ト言フ、ソレモ來タ時ニ診察ヲ受ケレ
バ宜イガ其際ニハ受ケナイデ、自分ノ
遊ビタイ程遊ビ、這入リタイ程這入リ、
四五十日モ經ッタ曉ニ於テサウ云フコ
トヲ言ウテ來ル奴ガアル、是ハ殊ニ此
溫泉ニハ多イ、一應ハ斷ッテ見ルケレド
モ、ドウモ肯カナイ、ソレデ私ハ仕様ガ
ナイカラ已ムヲ得ズヤッテ居リマスガ、
斯ノ如キ弊ノアルト云フコトハドウモ
私ハ此健康保險法ノ罪デハナイカ、サ
ウシテ況ヤ私共ノ貰フ金ハ幾ラカト
フト、一般的ノ計算ニ依ルノデア
ラ一日ニ對シテ七錢位ニシカ當ラナ
イ、五十日間ノ保證ヲシテヤッテ、三圓
五十錢シカ貰ヘヌ、ソレデ斯ノ如キ事
ヲセネバナラヌト云フコトハ實ニ私共
ハ醫者トシテ良心ニ恥ヂテ仕方ガナ
イ、ケレドモ本人ガ來テ頻リト言ヘバ、
又是モ人間ノ人情トシテ私ハスルハシ
マスケレドモ、之ニ對シテハ殆ド困ル、
斯ウ云フ事ヲ醫者カラモ泌ミ私ハ聞カ

サレタ、ノミナラズ淺原君ハ先刻二年モ
鶴嘴ヲ持ッテ居ッタト申シマシタガ、私
ハ鶴嘴ヲ持ッテハ働ラキマセヌケレド
モ、私ハ農家ニ生レマシテ、今日労働者
ニ付テハ如何ナルモノデアルト云フコ
トハ、略々其事ダケハ諒解シテ居ル積リ
デゴザイマス、大正三、四年頃、災害公
傷患者ニ對スル扶助ヲ政府ガ實施シヤ
ウト云フコトニナッテヤラレマシタ時
分ニハ、私共ハ何方カト云ヘバ、前ヨリ
労働者ニ同情シテ居ッタノデアルカラ、
是ハ非常ニ良イコトデアル、假ニモ資
本主ヲ主人トシ親シテ頼ッテ居ルモノデ
アルカラ、斯ウ云フ者ガ怪我ヲシ、或ハ
不具者ニナリ死ヌト云フヤウナコトガ
アツカカラ、之ニハ相當ナ事ヲシテヤル
ノガ當然デアルト云フノデ、私共ハ當
時此法ニ付テハ非常ニ喜ンデ之ニ應ジ
タ者デゴザイマスガ、一昨年カラ實施
ノ健康保險ニ對シマシテハ私ノ方ダケ
デ病院ヲ建テ、居リマスシ、自己デ保
險ヲ起シテ一切政府ノ手ハ藉ラヌデ自
己ノ方ダヤッテ居リマス、之ニ付テハ近
來ハ餘程改革ハ出來マシタケレドモ、
マダハ患者ガ多イ、一番誰ニ多イカ
ト云フト婦人ニ多イ、婦人ニ多イ原因
ハドウ云フ原因デ多イカト云フト、如
何ナル婦人デモ婦人病ヲ持タナイ者ハ
ナイ、サウシテ坑内ニ下リマス、婦人
モ男モ賃金率ハ平均シテ居ル、男ガ二
圓取レバ矢張女モ二圓取ルヤウナ割合
デアル、所ガ三十日ノ中假ニ二十五日

働イテ、一日二圓トスルト五十圓、ソコ
デ五十圓ニ對シテ三十圓ト云フ割リ方
ガ出ル、ソレデ毎日女ガ病氣バカリシ
テ居ルカラ、行ッテ調ベテ見ルト、洗濯
ヲシタリ色々立走リヲシテ居ル、三十
圓デ一家ノ家計ガ足りテ便利能ク働イ
テ居ル、ソレデ婦人ガ一番之ニ付テハ
多イ、次ニハ怠ケ者ノ男ハ殆ド之ヲ仕
事ニシテ居ル、是ハ根本ノ改正ニナル
時期ガ何レ參リマセウカラ御參考迄ニ
申上ゲテ置キマス、是ハ今日デ打切り
マスケレドモ、ドウカサウ云フ都合デ
ゴザイマスカラ、是ハ眞ニ労働ヲシテ
成功ヲシヤウ、假初ニモ幾ラカノ資本
主ニナッテ見ヤウト云フ労働者ナリ或
ハ資本家ニ對シテハ、此健康保險ハ最
モ良クナイカラ、ドウカ其御含ミデ十
分ナル御改正ヲ希望スル者デゴザイマ
ス、ドウカ宜敷御願ヲ致シマス

○大里委員 私ハ第六十一條ニ付テ御
尋スル積リデゴザイマシタガ、「不行
跡」ト云フ文字ガ加ハリマシタコトニ
付テハ、午前中淺原君カラモ質問ガア
リマシタカラ、此方ハ質問ハ止メマシ
テ、四十七條ノ改正ニ付テ御尋致シテ
見タイト思ヒマス、御承知ノ通り、公傷
患者ニ付キマシテハ特ニ鑛業法ガ適用
サレテ居リマスカラ、其方面デ相當ニ
緩和ガ出來ルト思ヒマス、併ナガラ治
療ニ付キマシテハ、從來ハ通算シテ百
八十日ト云フコトニナッテ居ッタノガ、
今日ハ之ヲ一病百八十日ニ改メテ居リ

マス、其必要ヲ認メラレマシタ根據ハ
何處ニ在ルカト云フコトヲ伺ヒタイ
○長岡政府委員 御答申上ゲマスガ、
只今迄ハ百八十日ト云フコトニ一般的
ニ制限シテ居リマシタ結果、例ヘバ同
一ノ被保險者デアリマシテ、眼モ惡イ、
咽喉モ惡イ、或ハ花柳病ニモ罹ッテ居ル
ト云フ者ガ、三人ノ醫者ニ付テ百八十
日間掛ルト云フコトハ出來タノデアリ
マス、併シ病氣ガ二ツモ三ツモ同時ニ
起リマスレバ宜シウゴザイマスガ、偶々
眼ノ病氣ニ百八十日罹ル、ソレガ癒ッテ
カラ咽喉ガ惡クナッタリ、或ハ花柳病ニ
罹ッタト云フ時ニハ、百八十日ト云フ制
限ガアリマス結果、其年ハ最早醫者ニ
掛レヌト云フ氣ノ毒ナ狀況ニナリマス
カラ、一ツノ病氣ニ付テ百八十日ト云
フ制限ヲ置キマシテ、ソレ以上ノ者ハ
先ヅ癱瘓保險ノ範圍ニ入ルベキモノト
モ考ヘラレマスカラ、一年ヲ通ジテ百
八十日以上ノ療養給付ヲ受ケラレヌト
云フ制限ヲ緩ク致シマシテ、一病ニ付
テ百八十日迄ハ療治ガ出來ル、斯ノ如
ク療養ノ給付ニ付テ聊カ厚クスルコト
ガ適當デアル、斯ル趣旨デアリマスガ、
併シ實際問題トシテハ、午前中モ畫ケ
ル餅ト云フ例ガ度々出マシタガ、實際
統計ニ現レテ居ル數字ヲ見マス、此
制限ヲ撤廢シテモ、之ニ要スル給付ノ
費用日數等ハ甚シク増加ヲ見ルコトハ
ナイ見込デゴザイマス、又是ハ御質問
外ノコトデ、或ハ申上ゲナイ方ガ宜イ

カトモ考ヘマスガ、今迄醫療給付ヲ受
ケテ居リマシタ醫師ノ方ニ於キマシテ
モ、一年ヲ通ジテ百八十日ト云フ制限
ヲ受ケテ居リマシタ爲ニ、醫師本來ノ
治療ト云フコト以外ニ、事務上ノ非常
ナ煩雜ナ負擔ヲ受ケテ居リマシタガ、
此制限ヲ撤廢致シマス爲ニ健康保險醫
ガ煩雜ナル事務ノ負擔ヲ免レルト云フ
コトモ之ニ依テ起リマスシ、又醫師會
ニ對シマスル醫療給付ノ契約ニ付キマ
シテハ、之ニ依ル増額ト云フコトニ關
シテ、相當費用ヲ増シテ契約ヲ來年度
ニ於テハシナケレバナラヌト考ヘテ居
リマス、勿論ソレハ此法案ガ兩院ヲ通
過スルモノト假定致シタ上ノコトデア
リマス、醫師會ニ對スル醫療給付ノ支
拂ト云フコトニ付テハ、之ニ對スル部
分ハ相當増額致サナケレバナラヌト心
得テ居リマス

○大里委員 只今ノ御話ニ依リマスレ
バ、醫師會ノ治療ノ公平或ハ治療費ノ
輕減ヲ成ベク順調ニサセルト云フコト
モ一ツノ目的デアルト云フコトヲ仰セ
ニナリマシタガ、私共ノ考デハ此規定
ヲ改正ニナッタ本當ノ目的ハ、濫療ノ防
止ト云フコトデハナイカト思ヒマス
ガ、如何デスカ

○長岡政府委員 濫療ノ防止ト云フコ
トハ、是ハ單リ此條文ニ限リマセズ、相
當力ヲ盡サナケレバナラヌコトデモア
リ、又將來モ力ヲ盡スベキコトデアリ
マスケレドモ、本條ノ改正ノ目的ハ、濫

療ノ防止ト云フ點デハナイノデアリマ
ス

○大里委員 尙ホ御尋致シマスガ、一
病百八十日ト云フコトニナリマス、
私共ノ方カラ申シマス、寧ロ濫療ガ
獎勵サレコトニナリハセヌカト思フ
ノデアリマス、何故ナレバ眼ガ惡ケレ
バ眼ノ醫者ニ掛ッテ百八十日ノ治療ヲ
受ケル、尙ホ婦人デアレバ婦人科ノ醫
者ニ行ッテ百八十日治療ヲ受ケル、或ハ
胃腸病ナラ胃腸病ノ爲ニ百八十日治療
ヲ受ケル、斯様ニ一ツノ病ニ付テ百八
十日ト云フ限定ガ出來マス、勢ヒ其
病氣々々ニ依テ一人ノ醫者ヲ定メテ
治療ヲ受ケナケレバナラス、從來ハ一
年間總テノ病氣ヲ百八十日ニ限ッテアッ
タモノガ、一ツノ病氣、一ツノ病氣ニ百
八十日ト云フコトニナルト、斯様ナ結
果ガ出テ來ル、其結果ハ私ハ却テ濫療
ノ獎勵ト云フコトニナリハシナイカト
思フ、此點ニ付テ政府ノ御考ハドウデ
スカ

○長岡政府委員 濫療ノ豫防ト云フコ
トニ付キマシテハ、先程申上ゲマシタ
ヤウニ、是ハ十分防止致サナケレバナ
リマセヌガ、本條ノ改正ノ爲ニ濫療ノ
増加ヲ見ルト云フコトニハ心得テ居リ
マセヌノデアリマス、ト申シマスノハ
先程申上ゲマシタヤウニ、百八十日ト
云フ制限ガアル爲ニ、或ル一病ガ治リ
マシテモ、他ニ病氣ガ起ッタト云フ場合
ニ、既ニ其年ニ於テ、第一回ノ病氣ノ爲

ニ百八十日ニ近イ日數ヲ費シテ居ル、
隨分本人トシテハ苦痛ニ堪ヘナイ重イ
病氣ニ罹ッテモ、醫師ノ治療ヲ受ケナイ
ト云フ氣ノ毒ノ状態ニナルノデアリマ
スカラ、一病ニ付テ百八十日ト云フコ
トニシタラ被保險者ノ爲ニ利益デアラ
ウト考ヘマシタダケデアリマシテ、其
爲ニ遂ニ醫者ノ手ヲ煩ハスコトガ多ク
ナルト云フコトハ、是ハ本當ノ病氣デ
アレバ致方ガナイ、是ハ全ク假病デア
リマスナラバ、被保險者ノ自制ト云フ
コトニ依テ、相當防ギ得ルコトデアリ
マシテ、無論醫師トシマシテモ、本人ガ
サウ云フ症狀等ヲ偽リマシテ、果シテ
病氣デアルカ、否カト云フ判定ガ困難
ナ場合モゴザイマセウガ、先ヅ御職掌
柄是ハ假病デアルカ、本當ノ病人デア
ルカト云フ判定ガ付イタナラバ、ソレ
ニ依テ相當ノ手心ヲ加ヘテ無論差支ナ
イ、苟モ本當ノ病人デアラナラバ、百八
十日ト云フコトヲ一年ニ制限サレルヨ
リモ、先ヅ、一病ニ付テ百八十日ト云フ
コトニシテ、眞ノ病氣ニ付テハ出來ル
ダケ治シテヤルト云フコトノ方ガ先ヅ
本法ノ目的上宜カラウト云フダケノコ
トデゴザイマス、尙ホ總テ濫療ノ防止
ト云フコトニ付テハ、此上共各種ノ手
段ヲ講ジテ、防ギタイト云フ考ヲ持ッテ
居ル次第デゴザイマス

○大里委員 引續キ御尋致シマスガ、
今他ノ委員カラモ御尋ガアリマシタヤ
ウニ、實際治療シマス上ニ最モ醫者ガ
困ッテ居ルノハ患者ノ作病、或ハ實際病
氣ニ罹ッテナイ者ヲ病氣ノアルヤウニ
シテ、大變長ク休ム、左様ナ事實ハ吾
ハ多ク見マス、之ヲ防ギマスルコトハ、
政府ト醫師トノ間ニ契約ヲ致シテ居リ
マスル治療ノ一點當リノ數ニ付テ、高
下ノ結果ヲ見ルノデアリマスカラ、最
モ私共注意ヲ致シテ居ルノデアリマ
ス、併シ事實ニ於テハ甚ダ之ガ多イノ
デアリマス、之ヲ防グ方法ニ付テ今迄
政府ハ色々ナル方法ヲ執ラレテ居リマ
ス、尙ホ色々良イ御考ガアルカ、又目下
最善ノ方法トシテ執ラレテ居ル方法ハ
ドンナコトデアリマスカ

○長岡政府委員 只今迄執リマシテ居
リマスノハ、要スルニ濫ニ醫師ノ診察
ヲ受ケルト云フコトハ、自他共ニ不仕
合セナル結果ヲ招クト云フコトデ、各
所ニ勞働者ヲ集メテ講演ヲシタリ、警
告ヲ與ヘテ居ル、斯ウシタ方法デヤッテ
居リマス、ソレカラ今一ツ視察員ナル
モノヲ置キマシテ、各健康保險署ヨリ
被保險者ナリ其他ノ所ニ實地視察ヲサ
セマシテ、假病ト云フモノヲ防イデ居
リマス、其外色々方法ヲ講ジテ居リマ
スガ、只今迄健康保險署ニ專門ノ醫者
ガナカッタ、現ニ府縣ノ醫師會長、健康
保險部長ト云フヤウナ方ニ、全ク無報
酬デ以テ囑託醫トシテ御働キ願ッテ居
リマス、來年度ノ豫算ガ幸ヒ通過致シ
マスレバ、主ナル健康保險署ニハ專務
醫師ヲ置キマシテ、只今迄囑託ヲ願ッ
テ置キマシタ醫師會及健康保險署ノ幹
部ノ方ト協力シテ、醫療給付ノ上ニ相
當ノ監督ヲ加ヘル、從來此健康保險署
ハ單純ナ事務官デ、技術ニ付テ全ク經
驗モ知識モナイ者ノミデアッタト云フ
コトガ缺陷ヲ爲シテ居リマス、將來此
囑託醫ノ手當トシテ、各健康保險署ニ
相當ノ醫師ヲ配置致スコトニシテ、益々
此假病ノ防止ト云フコトニ付テハ取締
ヲ嚴ニ致シタイト斯様ニ心得テ居リマ
ス

○大里委員 假病ノ防止ヲシマスル上
ニ私共ノ必要ヲ感ズルノハ、健康保險
ヲ最モ必要デアリマスル保險證ノ整理
ヲスルト云フコトガ大變ニ必要ナコト
デアルト思フノデアリマスガ、事實ニ
於テハ此整理ガ行ハレヌヤウニ思ハレ
ル、例ヘバ最モ甚シイノニナリマス、
某炭礦ガアリマシテ、其某炭礦ニ一人
ノ怪我人ガ出來ル、サウスルト怪我人
ガ出來マシタ日迄少シモ保險組合ガ其
手續ヲシテ居ナイ、事實ニ於テハ怪我
人ガ出マス、其儘醫者ノ所ヘ連レテ參
ル、保險證ハナイカト申シマス、保險
證ヲ持ッテ居ナイ、サウシテ治療ヲ受ケ
ル、醫者ハ治療スルト云フコトガ最モ
大切ナコトデアリマスカラ、直ニ治療
ヲ致シマス、保險證ヲ持ッテ來テナイカ
ラ、其理由ヲ尋ネマス、手續ガシテナ
イ、被保證ヲ持ッテ居ナイ、被保險者ト
シテ炭礦主ノ方カラ連レテ來ル、炭礦
主ノ方ヘソレヲ何故持ッテ來ナイカト

聞キマス、是ハマダ手續ガ昨日一昨日シテ居ル爲ニ手續ガ済マヌノデアッテ、必ズ一兩日ノ中ニハ其筋カラ廻ッテ來ルト斯ウ言ッテ居ル、其實ハ全クヤッテ居ナイ、之ガ非常ニ多イ、サウ云フコトヲ私共炭鑛地方デハ多ク見ル、被保險人ニ取ッテモ非常ニ迷惑デアアルシ、治療スル御醫者ノ方ニ取ッテモ迷惑デアアル、此ヤリ方ハ随分ヒドイヤリ方デアルト私ハ思フ、是等ニ對シテ其實例ヲ御存知ニナッテ居ルノデアリマス、若シ斯様ナコトガ事實アルトスレバドウ云フ考ヲ以テ之ヲ御防ギニナル積リデアリマスカ御尋致シマス

○長岡政府委員 只今大里君ノ御述ニナリマシタヤウナル實例ニ付テ、實ハ多少聞知致シテ居リマシタガ、最モ甚ダシキモノデアリマス、被保險者ニシテ其被保險者證ヲ賣買貸借スルト云フヤウナコトガ裏面ニ行ハレテ居ルト云フヤウナコトスラモ聞キマシタ、具體的ノ事實ハマダ取調ベテ居リマセヌケレドモ、斯カル風評ハ屢々耳ニ致シテ居リマス、是等ハ法ノ施行ノ上ニ於テ色ミナ障害ニナリマスコト勿論デアリマスガ、此被保險者證交付ノ手續返付ト云フヤウナコトニ付キマシテハ本法ガ幸ニ兩院ノ御協賛ヲ得マスレバ、勅令其他ノ之ニ伴フ手續ヲ改正致シマシテ、只今ノ被保險者證ニ依ル弊害ト云フヤウナコトハ成ベク除去シタイト考ヘテ居リマス、勿論是ハ法令ノ改正

ダケデハ出來ナイコトデアリマシテ、保險證ノ監督取締ト云フヤウナコトニ付テモ御注意ノ點ヲ能ク了承致シマシテ、誠意ヲ以テ斯カル弊害ヲ除去スルコトニ努力致シタイト考ヘテ居リマス

○大里委員 只今保險證ノ問題ニ付キマシテ、政府委員ノ御答辯ヲ得タノデアリマスガ、此機會ニ私ハ尙ホ一言御尋致シタイ、ソレハ健康保險組合ノ許サレテ居リマスル炭鑛ノ方、或ハ事業主ノ方及之ヲ許サレテ居ル理事者ノヤッテ居ラレル其態度ニ付テ、私共ハ甚ダ意ニ落チナイ所ガアル、ソレハ事實ニ於キマシテ保險證ト云フモノハ必ズ個人ガ各々所持シテ居ルノガ本則デアラウト思フノデアリマス、所ガ實際ニ於キマシテハ、殊ニ炭鑛地方デハ自身ガ持ッテ居ルノハナイ、皆其事務所ノ一所ニ集メテ居ル、就中健康保險組合ヲ許サレテ居ル場所ニ之ガ多イノデアル、ソレガ爲ニ被保險人ガ病ニ罹リ或ハ怪我ヲ致シマシタトキニハ、一々理事者カラソレヲ貰ッテ醫者ノ家ニ來ナケレバナラス、其爲ニ理事者ト被保險人ノ間ニハ相當意志ノ疏通ヲ缺クコトガ多イノデアリマス、ノミナラズ私共ノ地方ニ於キマシテハ鑛業者ノ團體ガアリマスルガ、其團體ノ内規ト致シマシテ一度自分ノ保險組合ノ中ニ居ル所ノ勞働者ガ病ニ罹リ、或ハ負傷致シマシタ時ニハ其方々ノ意思ニ依テ治療ヲ受ケサセヌ、斯ウ云フコトニナッテ居リ

マス、健康保險ノ最モ大切ナル精神デアリマスル自由選擇ト云フコトヲ全然無視シテ居ルノデアリマス、決シテ患者自身ノ自分ノ意思ニ依テ治療ヲ受ケサセナイノデアリマス、故ニ患者ハ已ムヲ得ズ自分ノ所屬ノ治療所デ治療ヲ受ケテ居ルノデアリマス、是ハ從來ハドウ云フコトヲヤッテ居ッタカト申シマス、ト云フト、從來ハ何所ノ炭坑デモ醫局ト云フモノガアリマシテ、其醫局ト云フモノハ稼働者カラ衛生費ト云フモノヲ取ッテ居ッタ、衛生費ヲ取ッテ居リマスルカラ、無論勞働者以外ノ家族ノ者モ其治療所デ治療ヲ受ケテ居リマシタケレドモ、其治療ガ満足デナカッタキハ、自分ノ欲スル儘ニ醫師ヲ選定致シテ居ッタノデアリマス、今日ハ健康保險ニ依リマシテ治療手當ヲ貰フ、又治療費ヲ供給シテ貰フ結果、已ムヲ得ズ指定サレテ居ル場所デ治療ヲ受ケンケレバナラス、自分ハ相當考ヘガアッテ自分ノ望ンデ居ル場所デ治療ヲ受ケンケレドモ、治療券ヲ渡サレヌ爲ニ泣ク、治療ヲシナイノデアリマス、其結果或ル組合ノ如キハ醫師一名デ殆ド五十人ニ近い患者ニ治療ヲ致シテ居ルヤウナ状態デアリマス、少クトモ三千人、今日我國ノ醫師ノ治療シマスル所ノ能率ハ大凡一千人乃至千五百人ガ醫者一人ノ治療ノ範圍ト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、ソレガ此炭坑地ニ參リマ

スルト云フト、三千人乃至五千人ノ患者ヲ一人ノ醫者ガ治療致シテ居ルノデアリマス、其結果ハ治療ノ上ニ於キマシテハ非常ナ缺陷ヲ來シマシテ、例ヘバ十日デ治ルベキモノハ三十日掛ル、或ハ半年デ治ルベキモノハ一年掛ッテ居ル、況ヤ是ハ立派ナ官廳デアリ、例ヘバ製鐵所病院ノ如キ治療設備ノ完成致シテ居リマスル場所デ斯ノ如キ事實ガ現レテ來ルノデアリマス、此時ニ於キマシテ既ニ百八十日間ノ治療ヲ致シテ其期限ガナクナッテシマッタ、モウ治療ノ期間ハナイノデアリマス、其際病ハ依然トシテ治ッテ居ナイ、已ムヲ得ズ今同ハ治療券ヲ貰フコトガ出來ナイカラ、コソソリ自分ノ欲スル醫者ニ掛ッテ治療ヲ受ケマス、ト云フト、僅カ一箇月足ラズシテ其病ハ治ッタ、斯様ナ場合ニ理事者ニ持ッテ行ッテ事實ヲ擧ゲテ理事者ニ要求致シマシテモ、何等其所ニ途ガ開カナイノデアリマス、斯ウ云フ結果吾々ノ知ッテ居リマスル範圍ニ於キマシテモ製鐵所内ニハ始終被保險者ト理事者ノ間ニハ不快ナ觀念ノ下ニ人知レズ鬭爭ガ行ハレテ居ルノデアリマス、是ハハ全ク保險證其物ヲ本人ニ渡サズシテ、一定ノ場所ニ保管致シマシテ、理事者ガ勝手ニソレヲ本人ニ渡スト云フ所ニ大ナル缺陷ガアリハセヌカト思フノデアリマス、是ハ吾々醫師ノ立場カラ考ヘマシテモ御承知ノ通り私共ハ例ノ筑豐鑛山ノ中心デアリマスル所謂炭坑地

デアリマスルガ、アノ市郡ノ開業醫ト云フモノハ健康保險ガ出來マシタ爲ニ醫者ノ今日迄持テ居リマスル所ノ治療權ト云フモノハ全然侵害サレテ居ルデアリマス、而シテ其各醫者ノ治療ノ狀態ヲ見テ見マスと云フト、今迄ハ洵ニ都合好ク平均シテ患者ノ分布ガ出來テ居リタモノガ、此健康保險ノ出來マシタ爲ニ、今日ハ非常ナ不均衡ヲ來シタノデアリマス、僅カニ二三ノ開業醫者ハ大變ナ恩典ニ預テ居ルニモ拘ラズ、大多數ノ醫者ハ是ガ爲ニ非常ナ脅威ヲ受ケテ居ル事實ガアルノデアリマス、此事ニ付キマシテハ、吾々ノ市郡ノ聯合醫師會ハ曩ニ其筋ニ幾多ノ統計ヲ舉ゲマシテ此缺陷ヲ補テ貰フコトニ付テ建議ヲ致シテ居ル次第デアリマス、併シマダ今日迄何等ノ是ニ對スル對策ハ行ハレテ居リマセヌ、ノミナラズ此事ニ付テ保險署及社會局ノ當局ノ人ニ御尋ヲシマスト云フト、一度社會局ハ保健組合ヲ許シタ以上ハ、ソレニ對スル所ノ吾々ノ權能ハナイノデアアル、其運用ニ付テハ悉ク保健組合ノ理事者ノ意思ニ依テ是ハ行ハレルノデアアルカラ、吾々ハ其所迄立入ルコトハ出來ナイ、唯吾々ガ監督スベキ點ハ治療ガ完全ニ行ハレテ居ルカ否ヤト云フ點ニ止マルノデアアル、若シ治療ガ完全ニ行ハレテ居ナイ時ニ、初メテ吾々ハ其組合ニ向テ制裁ヲ加ヘ或ハ文句ヲ言フコトガ出來ルノデアアル、斯ウ説明サレルノデア

ル、然ラバ今日許サレテ居ル所ノ組合ガ果シテ治療機關ガ完成シテ居ルカドウカ、私共ノ見ル所ニ依リマスと、決シテ完成シテ居リマセヌ、或ル場所ハ頗ル完成致シテ居リマスガ、多クノ場所ハ完成致シテ居リマセヌ、然ラバ治療組織ガ完成シテ居ルトカ居ラヌトカ云フ標準ハ何處ニアルカ、斯ウ尋ネテ見マスト云フト、治療組織ノ完成シテ居ルト云フノハ、各科ガ網羅サレテ居ラテ、治療上ニ缺陷ガナイモノヲ治療組織ガ完備シテ居ルト、斯ウ認メルノデアアル、斯様ナ説明デアリマス、私共ノ見ル所ニ依リマスと云フト、決シテ各科ヲ網羅シテ居リマセヌ、甚シイ所ニナルト開業醫ニ囑託致シマシテ、而モ獨立シタル所ノ保健組合ヲ持テ居リナガラ、近クノ開業醫ニ囑託致シマシテ、サウシテ其炭坑ニハ免狀ヲ持タナイ所ノ所謂代診ナルモノヲ雇入レマシテ、サウシテ監督ノ醫者ハ僅ニ一日ニ一時間トカ、或ハ甚シキハ二日ニ一遍トカ云フ治療ヲヤツテ居ルノデアリマス、併ナガラ其不滿ナル所ノ治療ヲ甘ジテ受ケナケレバナラヌト云フノハ保險證其者ガ患者ノ自由ニナツテ居リマセヌ、其結果已ムヲ得ズ不滿ナ治療ヲ受ケテ居ルノデアリマス、其不滿ナ治療ヲ受ケマシタ結果、一面ニ於テ其地方ノ開業醫ハ重大ナ開業權ノ侵害ヲ受ケ、又一面ニ於テ被保人ハ頗ル不幸ナ治療ヲ致シテ居ルト云フ事實ニナツテ居ル、私共ハ一

タビ保健組合ヲ許サレマシタ以上ハ、悉ク其保健組合ノ運用ニ付テ理事者ニ一任サレテ居ル以上ハ、斯ウ云フ缺陷ニ向テ之ヲ矯正スルコトハ甚ダ不可能デハナイイカト思フノデアリマス、私共望ミマスル所ハ、徹頭徹尾治療ト云フモノハ被保人ノ自由意思デナケレバナラヌ、所謂自由選擇ト云フコトガ法テハ此治療ト云フモノハ全然制限治療ニナツテ居ル、最モ強イ範圍ノ制限治療ニナツテ居ル、之ガ爲ニハ八幡ノ製鐵所ニ於テハ二年間モ地方ノ醫師會ト八幡ノ當局トノ間ニ紛擾ヲ來シマシタノデアリマスガ、辛ウジテ妥協ニ妥協ヲ重ネマシテ只今デハ表面ハ自由選擇ト云フコトニナツテ居リマスガ、事實ニ於テハ三十六名ノ醫者ニ交替デ治療ヲサセルト云フコトニナツテ居ル、又私ノ近クニ製鐵所ノ出張所ガアリマスガ、此出張所ノ如キハマダ醫師會トノ間ニ八幡ノ問題ガ解決シナカッタ爲ニ、完全ナ交渉ハ遂ゲテ居リマセヌデ、豫備方法トシテ只今ハ近クノ醫者五名ニ囑託ト云フ名義デ治療ヲ受ケテ居ルノデアリマス、其實名前ダケノ囑託デアツテ、囑託手當ダケヲヤツテ治療ハサセテ居ラヌ、何故治療ヲサセテ居ラヌカト云フト、矢張治療券ナルモノヲ皆理事者ガ手許ニ置イテ居ル結果、サウ云フコトニナツテ居ル、若シ個人々々ニ渡シテ置キマシタナラバ、自由ニ自分ノ好イ所デ治療

ヲスルコトニナラウト思フノデアリマス、此點ニ付テハ其結果ニ於テ非常ニ惡イ、思想ノ上ニ於テモ、又實際病氣ヲ治療シマス上ニ於テモ、又醫師ノ營業權ヲ侵害スル上ニ於テモ、甚シイ惡結果ヲ見ルノデアリマスカラ、私共ノ希望シマスル所ハ、徹頭徹尾此自由選擇ト云フコトヲ活カシテ貰ヒタイ、名ハ自由選擇デアリマスケレドモ、其實ニ於テハ全ク制限選擇ニナツテ居ルト云フコトハ甚ダ面白クナイ、其惡イ結果フ一例ヲ舉ゲテ見マスと云フト、以前ハ炭坑地方ニ於テハ衛生費ノ中カラ治療ヲ致シテ居リマシタカラ、其内ニ雇ハレテ居ル醫者ハ成ベク患者ノ少ナイコトヲ希望致シテ居ラタ、又成ベク其治療費ガ要ラナイコトヲ希望致シテ居ラタ、故ニ患者ハ悉ク其周圍ノ醫者ニ轉移スルコトヲ希望致シテ居ル、又事實自分ノ「ポケット」カラ金ヲ出スノデアリマスカラ、自分ノ好イタ方面ニ行ク、其爲ニ炭坑地方ノ開業醫ハ各専門ノ知識ヲ研究シテ開業致シテ居ル爲ニ、其中ニハ頗ル良イ所ノ醫者ガ居ルノデアリマス、ソレガ今日治療致スコトニナリマスレバ、治療證ヲ得ラレルカラ自分ノ懷カラ出スト云フコトハ二重負擔ニナル結果、已ムヲ得ズ健康保險組合ノ健康保險證ガ手ニ入ラヌ以上ハ、醫者ニ掛ルコトガ出來ナイ、又炭坑ノ方ニ於キマシテモ全ク以前トハ逆ニ、御醫者サンノ方デモ成ベク患者ハ

逃サナイ、又理事者ノ方ハ成ベク他所ノ醫者ニ掛ケサセナイ、何故ナレバ一度出マシタ治療費ハ再ビ政府ノ補助ガ付イテ歸ッテ來ルノデアリマス、以前ノ病院ハ衛生費ダケデハ病院ノ醫者ガ出來ナカッタニモ拘ラズ、今日ハソレガ一年間ニ二萬圓モ利益ヲ擧ゲテ居ル、斯ノ如キハ保險ヲ實施シマシタ精神ニ全ク悖ッテ居ルダラウト思ヒマス、是等ノ點ニ付テ御當局ノ御考ハ如何デアリマスカ

○長岡政府委員 只今大里君ヨリ健康保險組合ノ事務ノ執行ニ付キマシテ、具體的ノ實例ヲ擧ゲラレマシテ、各般ノ缺陷ニ付テ御指摘ニナリマシタガ、其中就中被保險者證ハ本人ニ交付セズシテ、一箇所ニ預ッテ置カト云フガ如キ、又自由選擇主義ヲ事實上ニ於テ認メザルヤウナ結果ヲ惹起スガ如キ、是等ハ何レモ法ノ認メザル所デアリマシテ、斯ノ如キ事ガ實際ニ行ハレテ居リマスコトハ、洵ニ遺憾千萬ナコトデゴザイマスガ、併ナガラ是ハ要スルニ健康保險組合ニ對スル監督ガ、十分ニ行ハレテ居ナイト云フコトニ起因スルコト、見ナケレバナラヌト思ヒマス、御承知ノ通り府縣ニアリマスル健康保險署ナルモノハ、健康保險組合ニ付テ殆ド監督權ガゴザイマセヌ、又監督權ヲ行使シヤウトシマシテモ、府縣ニアリマスル健康保險署長ハ大部分ハ判任官ノ書記デアッテ、事務官ノ數ハ極メテ少

ナイ、先ヅ東京トカ福岡トカ大阪トカノ主ナ所ニ限ッテ居リマシテ、大部分ハ判任官ノ書記ガ健康保險署長ヲ致シテ居ル結果、健康保險組合ニ對シテ假令法制上監督スル道ヲ與ヘマシテモ、事實上ノ監督ハ行ヒ難イ、サウ云フ事實ニ於テ今日ハ監督權ガナイト思ヒマスカラ、健康保險組合ニ對スル國家ノ監督ト云フコトハ、洵ニ不十分デアルト言ヒ得ルノデアリマス、先程社會局ニモ監督權ガ極メテ狹ク與ヘラレテ居ルト云フ御質問デアリマシタガ、是ハ社會局員ガ何カ間違ヘテ御答申シタト思ヒマスガ、社會局トシテハ健康保險組合ニ對シテ、法制ノ上ニ於テハ相當廣イ監督權ヲ持ッテ居リマス、併ナガラ東京ニ在ル役所ガ九州北海道ニ在ル組合ニ對シテ、監督ヲシヤウトシテモ長鞭馬腹ニ及バズ洵ニ不行届ニナリマスト云フコトハ、是ハ已ムヲ得ナイコト、思ヒマス、ドウ致シマシテモ現在ノ儘ニ放置シテ置キマシタナラバ、只今御指摘ニナリマシタヤウナ健康保險組合ニ於ケル事務上ノ缺陷ト云フモノガ、色々出テ來ルコトハ已ムヲ得ナイト思ヒマスルカラ、是ハ今日只今此席上デ私ハ具體的ニ申上ゲルコトハ差控ヘタイト思ヒマスガ、本案ト關係ナシニ健康保險組合ノ監督ニ關スル方法ヲ改メテ、具體的ニ健康保險組合ニ對シテ今少シ監督ヲシ得ルヤウ、勿論干涉ハ避ケナケレバナリマセヌケレドモ、只今御指

摘ニナリマシタヤウナ健康保險證ヲ本人ニ交付セズト云フコトニ付テハ、無論法ノ認メザル所、是等ノ缺陷ノナイヤウニ、只今ノ社會局ガ中央ニ居ッテ監督ヲスル、府縣ノ健康保險署ガ法制上ノ監督權モナシ、又法制上ノ監督權ヲ與ヘテモ實際實力ガ之ニ伴ハナイ、斯様デアリマス、所謂百年河清ヲ俟ツト云フヤウニナリマスカラ、數箇月ノ中ニ私ハ具體的ニ官制ナリ組織ナリヲ改メテ、サウシテ健康保險組合ニ今少シク監督ヲ加ヘルヤウニ改メタイト思ッテ居リマス、其具體的ノ事ニ付テハ省內ノ議ガ熟シテ居リマセヌカラ、今日申上ゲルコトハ差控ヘマスガ、之ニ對シテハ唯席上ニ於テ、大里君ノ御質問ヲ避ケル爲ニ、唯空疎ナコトヲ申上ゲル趣意デハナイノデアリマス、政府ノ肚ニハ其案ヲ練リツ、アリマスカラ、將來ニ於キマシテハ健康保險組合ニハ、今少シク慎重ニ監督出來ルコト、考ヘテ居リマス

○大里委員 今二三點御尋ネシマス、官公立病院ノ診療方針ニ關シマシテハ、普通ノ醫師會トノ契約ニ於キマスル契約トハ異ッテ居ルヤウニ思ハレルノデアリマス、御承知ノ通り、政府對醫師會トノ契約ハ第十五條ニ依リマシテ診療方針ト云フモノガ定メラレテ居ルノデアリマスガ、實際ニ於キマシテ官公立病院ノ契約ハ非常ニ有利ナ契約ノ下ニ診療契約ガ結バレテ居ルヤウニ思ハレマスガ、如何ナル理由ノ下ニ斯様ナ差別待遇ガ行ハレテ居リマスカ

○長岡政府委員 差別待遇ヲ致スト云フ趣旨カラ契約ヲシタノデアアリマセヌケレドモ、先程モ御話ガ出マシタヤウニ、健康保險施行ノ當初ニ於テ可ナリノ患者ガ豫期以上ニ出マシタ爲ニ、日本醫師會ノ御引受ニナッテ居ル患者ノ診療ニ付テハ標準點數ガ豫期ヨリモ非常ニ少カッタ、斯ウ云フコトガ結果ニ於テ現レタ、併シ幸ニ濫診濫療ト云フコトガ相當防止サレマシテ、今日デハ全國平均シマシテ一點ノ單價ガ十五錢内外ニナッテ居リマス、是ハ被保險者ノ自覺、又濫診濫療ノ防止ト云フ事ト相俟テ將來ハ段々宜クナルコト、考ヘテ居リマス、隨ヒマシテ官公立病院ノ引受ケテ居リマス診療ノ單價ト、日本醫師會ノ引受ノ診療ノ單價ト云フコトハ、漸次接近シテ行ッテ、兩者ノ間ニ不均衡ノコトガ無クナルヤウニ相成ルダラウト考ヘテ居リマス

○大里委員 只今長岡長官ノ御説明ニ依リマス、一點十五錢平均ト云フ御話デアリマスガ、此十五錢ト云フコトハ、各縣ノ醫師會ガ診療ノ審査ヲスルコトニ於キマシテ嚴密ナル監督ヲ致シテ居ル結果デアラウト思フ、我ガ福岡縣ノ如キハ、所ニ依テ十五錢ニハナッテ居リマセヌ、ソレニモ拘ラズ郡醫師會デ嚴重ナル検査ヲ致シテ、更ニ縣醫師會デ再ビ審査ヲ致シテ居リマス、故ニ

相當治療ヲシナケレバナラス、所謂二點乃至三點ノ價值ノアルモノモ一點ニサレタト云フ事實ガ澤山アル、此結果斯様ナ平均點ヲ受ケテ居ルノデアリマス、健康保險ニ付キマシテハ、吾々同業者即チ日本全國ノ四萬餘ノ同業者ハ相當苦心ヲ致シテ居ルノデアリマス、此苦心ノ結果ハ、某縣々々ニ於キマシテハ全部健康保險醫ヲ辭シタイト云フヤウナ雲行モアルヤウナ狀態デアル、ソレニモ拘ラズ官公立病院ニ限ラテ政府ガ治療費ノ差別契約ヲサレルト云フコトハ、寧ロ私共ノ方カラ考ヘマスト政府ノ耻辱デハナイカト思フノデアリマス、矢張是ハ各縣醫師會ト同様ニ取扱フベキモノデアルト思フノデアリマス、ドウシテモサウシナケレバ一點當リト云フモノハ低クナツテ參ルト思フノデアリマス、私共ハ將來官公立病院デアッテモ、矢張其縣ノ醫師會同様ニ此第十五條ヲ適用サレテ契約ヲシテ戴キタイト云フ希望ヲ持ツテ居リマス、是ハ洵ニ詰ラナイコトカモ知レマセヌガ、世間デハ斯ウ云フコトヲ能ク言ヒマス、健康保險ノ出來タ爲ニ喜ンデ居ル者ハ餘リナイ、ドウシテモ是ハ喜バナケレバナナイ筈デアアル、全ク社會政策上良イ方法デアアル、然ルニ資本主ガ第一ニ此運用ニ付テハ喜ンデ居ナイ、最モ直接關係アル治療ノ衝ニ當ッテ居ル醫者モ喜ンデ居ラナイ、被保險者モ喜ンデ居ナイ、唯喜ンデ居ルノハ健康

保險署ノ役人許リデアルト云フ、斯様ナ洵ニ聞クニ堪ヘナイ皮肉ヲ言ッテ居ル人モアルノデアリマス、斯様ナコトハ此法律ガ施行サレテ僅カ二年未滿デ、其運用ノ上ニ於テハ經驗ガナイカラ、幾多ノ缺陷ノ起ルコトハ當然ノコトデアリマスケレドモ、先程私ガ申シマシタヤウニ、實際運用ノ上ニ大ナル支障ガアルノデアリマス、現ニ私共ノ地方ノ所謂炭坑地方ノ開業醫ト被保險者トハ、折角ニ有難イ健康保險ノ精神ガ潤ウテ居ラヌノデアリマス、只今社會局長官カラ吾々モ同様ニ此缺陷ヲ認メテ居ルカラ、少クトモ近イ時日ノ中ニハ大ナル改正ヲ加ヘテ、満足ナル結果ヲ見タイト云フ御説明モアッタノデアリマスカラ、私ハ此説明ヲ聞イテ非常ニ満足致シタノデアリマス、ソレ故ニ多ク此處デ質問ハ致シマセヌ、更ニ健康保險ノ改正ニ付キマシテハ、無產黨カラ案ガ出テ居リマスルカラ、其時ニ讓リマスルガ、最後ニ御尋致シテ置キタイノハ、今長岡サンノ御説明ニ依リマスト云フト、自由選擇ガ法ノ精神デアルカラ、若シ自由選擇ガ行ハレテ居ナイ場合、更ニ保險證ガ各自ノ手許ニナカッタ場合ニハ、當局トシテハ斷ジテ之ヲ許スコトハ出來ナイト云フ御説明デ、是ハ當然ノコトデアアル、此精神ハ吾々ト共ニ徹頭徹尾服膺シテ、此健康保險ノ運用ハヤラナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、事實ニ於キマシテハ

先程述べマシタヤウニ決シテ是ハ行ハレテ居ラヌノデアリマス、九州地方バカリデナイ、北海道或ハ福島縣ノ如キ、炭坑ノ、鑛業ノ盛ナ處デハ事實ニ於テ行ハレテナイ、就中之ガ鑛業組合ヲ許可ニナツテ居ル場所ニ多ク行ハレテ居ラヌ、況ヤ官業ノ製鐵所ノ如キモ完全ニ行ハレテ居リマセヌ、完全ドコロデハナイ、製鐵所ノ二瀬ノ出張所ノ如キハ全然之ヲ認メテ居リマセヌ、若シ被保險者ノ方カラ之ヲ要求シマスト云フト、要求シタ者ガ直ニ御拂箱ニナルト云フ非慘ナル狀態ニナリ、其爲ニ自分ノ希望スル醫者ニ掛ツタ方ガ却テ治療ガ安全ニ出來ルノデアリマス、五千人診テ居ル醫者ト、千人シカ診テ居ラヌ醫者トハ其治療ガ大變違フカラ、先ヅ平タク申シマスレバ、治療ガ親切デアルカ親切デナイカト云フコトニ分レテ居ルノデアリマス、親切ナル治療ヲ受ケヤウト致シマスレバ、自分ノ信任致シテ居ル醫者ニ自由ニ掛カルト云フコトニナラナケレバ、決シテ病ヲ治スト云フコトハ出來ヌノデアリマス、ドウシテモ此缺陷ハ一日モ早く匡正シテヤラナケレバナラヌノデアリマスカラ、願ハクバ長官ガ先程御話ニナリマシタ御心持ヲ直ニ事實ノ上ニ現レルヤウニ御監督ヲ願ヒタイ、此事ニ付テ當局ノ方ニ御尋致シマシタ所ガ、地方ノ保險署デハ其權能ハナイ、只今長岡サンノ御説明ノ通りデアリマス、大阪ノ方ニ出

張所ガアルカラ、大阪ノ方カラ九州ハ監督スルコトニナツテ居リマス、必ズ大阪ノ方カラ一度出張ッテ病院ナドノ視察ヲヤルコトニナツテ居リマス云フコトヲ既ニ一年半前カラ私ハ聞イテ居リマス、所ガ今日迄一度モ事實ニ現ハレテ居リマセヌ、一度保險組合ヲ御許シナリマシタナラバ、果シテ其保險組合内ニ於ケル所ノ治療組織ガ、當局ノ見マシタ即チ完全ニ出來テ居ルカ居ラナイカト云フコトヲ、實際ニ於テ御検査下サラナイト、唯書類ノ上デハ往々誤リガアラウト思ヒマス、此機會ニ御願スルコトハ、保險組合ヲ許サレテ居リマス其組合ニ於テ、果シテ此健康保險ガ都合好ク運用サレテ居ルカドウカト云フコトヲ、更ニ御監督ヲ願ヒタイト思ヒマス、之ヲ以テ私ノ質問ヲ打切りマス

○佐々木委員 其他ニ質問ガアリマスカ

○中井委員 私ノ質問ハ簡單デアリマス、結核ト花柳病トノ割合ハ、他ノ病氣ニ對シテドノ位ノ割合ニナツテ居リマスカ、若シ是ハ表デモアリマスルナラバ表デ御提出ヲ願ヒタイト思ヒマス、更ニ此度第六十一條中ニ御附加ヘニナラウトスル「著シキ」デアリマス、是ハ固ヨリ花柳病中ニ入ルベキモノト存ジマスガ、花柳病ノ中デ著シキ不行跡ノ部分ニ入ルベキモノハ、ドノ位ノ割合ニアルト御認ニナツテ居リマスカ、是亦

出來ルナラ表デ詳シイモノヲ願ヒタイト思ヒマス

○長岡政府委員 第一ノ御質問ノ表ハ此處ニ持參ヲ致シテ居リマスガ、併シ數字ニ互リマシテ細シク申上ゲルコトハ御迷惑ト思ヒマスカラ、此次ノ委員會迄ニ表ニ刷リマシテ特別委員ノ方ニ御手許ニ差上ゲルヤウニ致シタイト思ヒマス、第二ノ御質問ハ是ハ午前中ニ淺原健三君ノ御質問ニ對シテ詳ク申上ゲマシタガ、是ハ花柳病ヲ種類ニ依テ區別スルコトハ到底出來ナイト思ヒマスガ、最初申上ゲマシタヤウニ、花柳病ハ必ズシモ不行跡カラ起ルモノデナクシテ、全ク本人ノ關知セザル偶然ノ原因デ起ルコトモアリマス、君ハ痲病デアル君ハ花柳病デアル、ソレハ不行跡カラ起リタト云フコトハ申難イ、又多少ノ不行跡ガアリマシテモ、是ハ人間ノ性的ノ欲求デアリマスカラ、之ニ對シテ餘リ苛酷ナコトヲ致スコトモ出來ナイ、併ナガラ餘リ再々治療ヲシテヤルニ拘ラズ重ネノ月ニ何回モ花柳病ニ罹リテ來ル、是ハ全ク本人ノ不心得デアルト云フ場合ニハ、他ノ健康ノ勞働者カラ大分不平ノ聲ガアル、自分等ノ納メタ保険料デ彼ハ休ンデ治療ヲ受ケテ手當ヲ貰フテ居ルト云フヤウナコトヲ聞キマスカラ、之ガイカヌト申シマス、甚ダ言葉ハ行キ過ギマスケレドモ、稍、警戒ヲ與ヘル意味ニ於テ、治療ハ無論シテヤリマスケレドモ、著シ

ク本人ノ不行跡ニ依テ再々花柳病ニ罹ル者ハ、其間休ンデ居リマシテモ手當金ヲ全部又ハ一部ヲ減額スルコトガアルゾト云フコトヲ茲ニ現シタダケデアリマス、治療ノ方ハ著シキ不行跡ニ依リマシテモ、矢張與ヘルコトニナツテ居リマス、手當金ノ減額ハ是ハ今日詳細ニ豫想ハ出來マセヌケレドモ、是ハ又詳細シク表ニ認メテ差上ゲルコトハ困難デアリマスガ、私ノ熟セザル豫想ニ依リマスルト、十分ノ一即チ一割以上ニ上ルコトハナカラウト斯ヤウニ心得テ居リマス

○中井委員 サウシマスト突込ンデ質問ヲシナケレバナラヌト思ヒマスガ、併ナガラ茲ニ著シキ不行跡ト云フモノヲ御舉ゲニナツタ理由ハ、是ハ午前中ニ淺原君ノ御質問ニ對シテ御答ガアッタヤウデアリマスガ、單ニ一部ノ職工等ノ言フ聲ニ依テ、之ヲ入レナケレバナラヌト御決メニナツタノデアリマスガ、ソレトモ現實左様ナ實例ガアル、宜シクナイト云フ所カラ、具體的ノ實例ニ基イテ其弊害ヲ矯正スル爲ニ御加ヘニナルノデアリマスガ、其根據ハ何處ニアルカト云フコトヲ承リタイト思ヒマス

○長岡政府委員 其原因ニ付テハ是ハ淺原君ニ御答致シマシタ通りニ、一部ノ勞働者カラ苦情ガアッタ爲ニ之ヲ揭ゲタト云フ譯デモゴザイマセヌ、又醫師ノ方カラサウ云フ要求モゴザイマ

シタガ、醫師ノ聲ノミヲ容レテ斯ウ云フ條文ヲ揭ゲタト云フコトデモゴザイマセヌ、實ハ有リヤウヲ申上ゲマスト、政府部内ニ勞働保險調查會ト云フモノガゴザイマシテ、是ハ勞資兩方面ノ代表、醫師會ノ代表、其外貴衆兩院ノ議員諸君、學識經驗ノアル者ガ多數集リマシテ、此勞働保險ニ對シテ種々調査研究ヲ致シテ居リマス、直接ノ動機ト致シマシテハ此會ノ決議ニ依リマシテ現狀ニ鑑ミ著シキ不行跡ニ依テ再々花柳病ニ罹ル者ハ、手當金ノ全部若クハ一部ノ減額ヲスルト云フ所ノ決議ニ基キマシテ、政府ガ其趣旨ヲ容レタト、斯ウ云フコトニ相成ツテ居リマス

○中井委員 ソレデハ此點ニ付テモウ一層一ツ私ノ愚見ヲ開陳シツ、政府ノ御所見ヲ伺フコトニ致シマスガ、歸スル所私ガ繰返シテ申上ゲヤウトスル所ハ、先刻來淺原君ノ言ハレタコト、同ジコトニナルノデアリマス、私共ハ元來此結核竝ニ花柳病ト云フモノニ付テハ、是ハ療治ノ關係ヲ離レテ國民保健ノ大局ノ上カラ觀テ大ニ考慮シナケレバナラヌモノデアルト考ヘテ居リマス、是ハ申スマデモナイコトデアリマスガ、現ニ結核ニ付キマシテハ國家自ラ或ハ治療ヲシ、或ハ早期診斷等ニ付テ隨分ト御心配ニナツテ居ルノデアリマス、花柳病ニ付キマシテモ成程其原因ハ多ク本人ノ不品行ト云フコトニ發シマセウケレドモ、其結果カラ見マスル

ナラバ、其原因ノ如何ナルモノヲ問ハズ、結核ト之ヲ區別シテ花柳病ナルガ故ニ酷イ目ニ遭フテモ國家ハ放ツテ置イテ宜イト云フ譯ニハ參ラヌト思フノデアリマス、此意味ニ於キマシテ、寧ろ國家自ラ結核ト之ト同ジヤウニ看做シテ、國家ノ費用ヲ以テデモ之ヲ撲滅スル爲ニ、既ニ罹ッタ者ニハ之ヲ治療セシムル、其結果即チソレニ依テ他ノ花柳病ニ罹ラザル人達ニ花柳病ヲ傳染スルコトヲ豫防スル、此趣旨ニ於テ國家ハ大ニ特別ナル施設ヲ致シテ然ルベキモノダト私共考ヘテ居ルノデアリマス、就キマシテハ茲ニ著シキ不行跡ト云フコトヲ御入レニナリマス、先程來局長ノ御答辯ニ依リマスレバ、是ハ花柳病中デモ所謂度シ難キ者ニ對スル場合ニノミ適用スベキモノデ、一般花柳病患者ニ適用スベキモノデハナイト云フコトデアリマスガ、其儘ニ之ガ嚴格ニ實際ニ法ノ運用ノ上ニ於テヤラル、ナラバ、是ハ安心デアリマス、併ナガラ既ニ之ヲ置カレルト云フ御趣旨ガ左様ナ不行跡ヲ防止スル爲ニ一ツノ威嚇的ノ意味デ置カレルト云フノデアリナラバ、而シテ其法ノ精神ヲ徹底セシムルナラバ、其威嚇ニ依テ何カ其所ニ一ツノ結果ガ出來ナケレバナラヌ、サウナケレバ之ヲ入レラレル理由ハナイノデアリマス、其弊トスル所ハ即チ花柳病ダト云フコトニナレバ、唯何ンデモ彼デモ先程來御説明ニナル長官ノ此法ノ

精神トスル所ヲ超越シテ、即チ著シキ不行跡ノ中ニ入レラレルノ虞アリトシテ、罹ッタ者モ之ヲ隱蔽スルヤウニナル、又此保險者ノ方デモ場合ニ依レバ之ヲ惡用シテ、怪シカラヌノダカラト即チ此一言ヲ御入レニナッタ威嚇ノ精神ヲ餘リニ擴張セシメテ、花柳病ナラバ手當ヲ廢メテシマフト云フヤウナ懲戒ノ意味デ以テ大ニ盛シニ之ヲ適用スルト云フコトニ相成リマスルナラバ、其ノ結果ハ結局花柳病ト云フモノニ付テハ、長官ノ言ハル、如ク假ニ著シイ場合デナクテモ、非常ニ多ク之ガ適用サレテ、結核又ハ花柳病ノ場合ニハ救濟サレナイ、又之ヲ隱蔽シテ其儘ニ濟マス、即チ茲ニ國家ガ最近ヤカマシク其豫防ト撲滅ノ爲ニ骨ヲ折ッテ居リマスル花柳病ノ傳染傳播ト云フ上ニ付テ、非常ナ障害ヲ來ス虞ナキヤト云フコトヲ心配致スノデアリマス、即チ長官ノ御説ヲ承ッテモ、多クノ病氣ノ中デ花柳病ト云フモノハ極ク少イノデアアル、而モ是等ノ花柳病ノ中ノ著シキ不行跡ト云フモノハ、特殊ノ場合デアアルト云フ、シテ見レバ此「闘爭若ハ泥醉」ト云フコトガ繪ノ上ノ餅ノ如キモノデアアルトスレバ、一層少ナイ著シキ不行跡ト云フモノハ殆ド空中ノ樓閣ノ如キモノニ相成ルノデハナイカト思フノデアリマス、ソレナラバ寧ロ斯ウ云フヤウナモノヲ入レテ、而モ動モスレバ其弊害ノ大ナラントスル虞アルモノニ付テハ、

寧ロ私ハ入レナイ方ガ宜イト云フヤウナコトニ、國民保健ノ大局カラ云ッテモ考ヘラレルヤウニ思フノデアリマス、此點ニ關スル御所見ヲ伺ヒタイノデアリマス

トノナイヤウニハ十分注意ヲ致シテ行ク積リデゴザイマス、唯國民全般ノ肺結核ト花柳病ト云フコトニ付キマシテハ、ドウモマダ正直ニ申上ゲマスガ、國家ノ施設トシテ甚ダ不十分ノ謗ヲ免レヌト思ヒマス、只今肺結核療養所ノコトニ付テモ御指摘ニナリマシタガ、是ハ六大都市其他僅カバカリノ所ニ設備ガアルダケデ、其他施療病院、慈善病院等ニ於テモ、肺結核患者ノ「ベット」ヲ分ケルコトガ出來ヌト云フヤウナコトガ動モスルト起ルノデアリマス、花柳病ニ付テモ、是ハ固ヨリ國民ノ反省トカ、道德其他宗教等ト相俟テヤラナケレバ根絶ハ出來ナイノデアリマスガ、

安心ヲ與ヘマスヨリモ、或ル場合ニハ手當金ハヤラヌ場合ガアルゾト云フコトニシテ、本人ノ不行跡ヲ戒メルト云フコトガ、此花柳病ノ蔓延ヲ防グ上ニ於テ稍、良好ナ結果ヲ來スデアラウト云フヤウナ考ヲ以チマシテ、此改正案ヲ御審議ヲ願ッタ次第デゴザイマス

○中井委員 幾度繰返シテ御尋シテモ結局御答辯ハ同ジコトニナリマスガ、只今御答ノ趣旨ハ諒承シテ之ヲ申上ゲテ居ルノデアリマス、即チ本問題ハ、治療ト云フモノハ決シテ之ヲ止メルノデハナイ、唯手當ダケニ關スルモノデア

アルカラ安心セヨト云フ御話デアアルノデアリマスガ、私共ハ假ニサウデアッタシテモ手當ヲ全然取上ゲラレル、一日デモ止メラレルト云フコトノ爲ニ、肝腎ノ治療ヲスルト云フコトヲ疎カニシテ、若クハ之ヲ隱シテシマウト云フヤウナコトニ相成ル弊害ノ大ナルコトアリハセヌカト云フコトヲ恐レテ申上ゲテ居ルノデアリマス、左様ニ御承知置キヲ願ヒタイノデアリマス、是レ以上ハドウモ意見ノ相違ノヤウデアリマスカラ申上ゲルコトヲ避ケタイト思ヒマス、唯内規ニ依テ私ノ先程カラ申上ゲル心配ハ少クスルコトガ出來ルト言ハレタノデアリマスガ、此内規ト云フコトニ付テハ既ニ具體案ガアリマスガ、若シアリト致シマスレバ、此際御示ヲ願ヒマスレバ、吾々此問題ヲ審議スル上ニ付テ考慮ヲ致シタイト思フノデアリマ

○長岡政府委員 只今中井君ヨリ肺結核及花柳病ノ問題ニ付キマシテ、國民保險ノ大局カラ色々御心配ノ御説ガゴザリマシタ、是ハ先程來繰返シテ申上ゲマスルヤウニ、著シキ不行跡ニ依テ起リマシタ花柳病ト雖モ、病氣ヲ治スルト云フコトダケハ無論健康保險トシテハヤルノデアリマス、幾回罹リマシテモ、其原因ガドウデアリマシテモ、現實ノ病氣ヲ根絶サセルト云フコトニハ力メルノデゴザイマス、隨ヒマシテ之ニ依テ隱蔽云々ト云フヤウナコトハ起リ得ナイト考ヘルノデアリマス、併ナガラ先程申上ゲマシタヤウニ幾回甚シキ不行跡ヲシテモ病氣ハ治シテ呉レル、ソコマデハ宜イガ休ンデ居ル間ハ日給ノ六割ダケ金ヲ貰ッテ安シテ暮シテ行ケルト云フコトノ安心ヲ與ヘルヨリモ、病氣ハドコマデモ治シテヤルガ、餘リ不仕鱈ナコトガアレバ、日給六割ト云フ手當ハ減スカモ知レヌゾト云フコトニ依テ、本人ノ不行跡ヲ戒メタイト云フ趣旨ニ外ナラヌノデイゴザマス、之ガ實行ニ當リ餘リ行過ギテ弊害ヲ生ズルト云フコトノナイ爲ニハ、内規其他ニ依リマシテ、決シテ御心配ノヤウナ國民保健上ニ惡影響ヲ及ボスコ

トノナイヤウニハ十分注意ヲ致シテ行ク積リデゴザイマス、唯國民全般ノ肺結核ト花柳病ト云フコトニ付キマシテハ、ドウモマダ正直ニ申上ゲマスガ、國家ノ施設トシテ甚ダ不十分ノ謗ヲ免レヌト思ヒマス、只今肺結核療養所ノコトニ付テモ御指摘ニナリマシタガ、是ハ六大都市其他僅カバカリノ所ニ設備ガアルダケデ、其他施療病院、慈善病院等ニ於テモ、肺結核患者ノ「ベット」ヲ分ケルコトガ出來ヌト云フヤウナコトガ動モスルト起ルノデアリマス、花柳病ニ付テモ、是ハ固ヨリ國民ノ反省トカ、道德其他宗教等ト相俟テヤラナケレバ根絶ハ出來ナイノデアリマスガ、

昨年デアリマシタカ一昨年デアリマシタカ、御協賛ヲ經テ施行シテ居リマスル花柳病豫防法ニ付キマシテモ、マダ施行後日モ淺イ爲ニ今日満足ナ結果ヲ舉ゲ得ナイヤウナ次第デアリマシテ、國家トシテ國民保健ノ大局カラモ結核及花柳病治療ノ施設ニ對シテハ、マダ不十分ト考ヘマスノデ、是ハ將來豫算ノ許ス限リ十分ニ施設ヲ致シテ行カナケレバナラヌコト、確信致シマスルガ、只今問題トナリマシタ健康保險ノ改正ニ付キマシテハ繰返シテ申上ゲマスガ、花柳病ト雖モ何回デモ根治スル迄治療ヲ致シテヤリマスガ故ニ、隱蔽等ノ危險ハナイト思ヒマスガ、之ニ對シテ何時迄モ日給六割ト云フモノヲ與ヘテ生活ノ保障ヲ與ヘルト云フコトノ

安心ヲ與ヘマスヨリモ、或ル場合ニハ手當金ハヤラヌ場合ガアルゾト云フコトニシテ、本人ノ不行跡ヲ戒メルト云フコトガ、此花柳病ノ蔓延ヲ防グ上ニ於テ稍、良好ナ結果ヲ來スデアラウト云フヤウナ考ヲ以チマシテ、此改正案ヲ御審議ヲ願ッタ次第デゴザイマス

ス

○長岡政府委員 實ハ此法案ヲ改正シマスル際ニ、案文自體ノ中ニ、モウ少シ具體的ニ現ハシタ方ガ宜クハナイカ、即チ著シキ不行跡ト云フヤウナ抽象的ノ規定ヨリモ、凡ソ月ニ何回トカ、或ハ平均治療日數ガ一箇月ニ互ルモノ、或ハ一年ニ何回繰返スト云フヤウナコトヲ、具體的ニ現シタラ宜イデハナイカト云フ說モゴザイマシタガ、是ハ立法技術ノ上ニ於テ餘リ劃一的ニ流レマス

ノデ、縱令年ニ何回繰返シマシテモ、其原因ニ依テハ宥恕スベキモノモアリ、又原因ニ依テハ宥恕スベカラザルモノモアリマスカラ、ソコラノ事ハ法文ノ上ニ書表ハスコトハ出來ヌノデアリマス、隨ヒマシテ今内規トシテ之ヲ案文

ニシテ御手許ニ差上ケル迄ニハ熟シテ居リマセヌケレドモ、一年ナリ或ハ數年ナリノ期間ヲ通ジ治療日數ドレダケ掛ルヤウナモノ、何回以上罹ッタモノ、而シテソレニ付テハ本人ノ罹リマシタ理由ニ依テ相當重大ナル責任ガ本人ニ在ルト云フヤウナ場合ヲ具體的ニ研究

致シマシテ、之ニ依テ執行ノ公正ヲ得タイト云フダケノ考ヲ持ッテ居ル次第デアリマス

○中井委員 尙ホ著シキ不行跡ト云フコトデアリマスガ、其不行跡ノ著シイト云フコトハ内規デ然ルベク御定メニナルト云フコトデアリマスガ、其問題ノ認定ハ誰人ニセシムルコトニナリマ

スカ、殊ニ爭ノ起リマシタ場合ハ……

○長岡政府委員 認定ニ付キマシテハ保險者デアリマス、詰リ政府ガ管掌シテ居ル被保險者ニ付テハ政府、健康保險組合ニ付テハ健康保險組合、是ガ保險者デアリマス、ソレガ認定ヲ致シマスガ、併シ之ニ不服ノアル場合ニハ、相當救済ノ方法ガ法ニ於テ認メテアル次第デアリマス、保險審査會ニ訴ヲ起スコトニ相成ッテ居リマス

○中井委員 サウスルト先ヅ政府ガ認定ヲスルト云フコトデアリマスガ、實際上ノ問題トシテ其衝ニ當ル者ハ誰人ガヤルコトニナリマスカ

○長岡政府委員 事實上ハ府縣ノ健康保險署長ガ醫師ノ意見ナリ其他ノ意見ヲ聽イテ定メル、併シ其處置ニ不服ノアル者ハ、一次二次三次迄、健康保險審査會ニ訴ヲ起スコトガ出來ル、斯ウ云フコトニナルト御了承ヲ願ヒマス

○中井委員 サウシマスルト、醫者ハ保險署長ニ、著シキ不行跡アリト認メタ時ニハ上申スルト云フヤウナ内規デモ御作リニナル積リデアリマスカ

○長岡政府委員 左様ニナッテ居リマス

○中井委員 其處迄ハッキリオヤリニナルノデアリマスカ

○長岡政府委員 サウデス

○佐々木委員長 ソレデハ質問ハ是デ終了致シマス、次回ハ明後月曜日ノ午後一時半カラ開キマシテ採決ニ入りマ

スカラ、ドウカ全員定刻ニ御出席ヲ願ヒマス、本日ハ是デ散會致シマス

午後二時五十五分散會